

平成29年度第1回安来市創生総合戦略推進会議

平成29年5月25日（木）午後1時30分～
安来中央交流センター 講義室

次 第

○開会の挨拶

会議成立報告

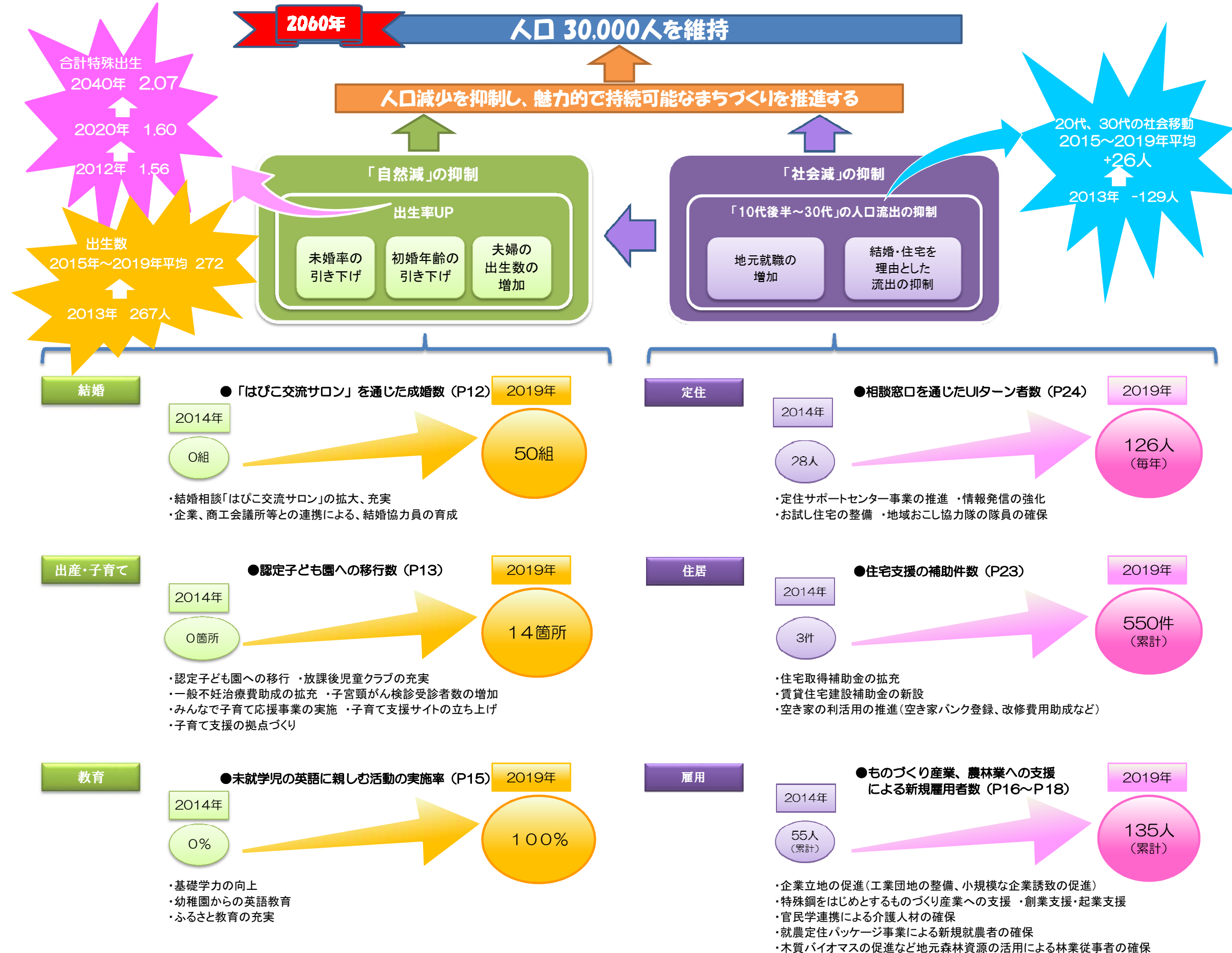
○議 事

（1）総合戦略事業（基本目標2）について

○その他

○閉会の挨拶

安来市総合戦略のイメージ(安来市が重点的に取り組むもの)



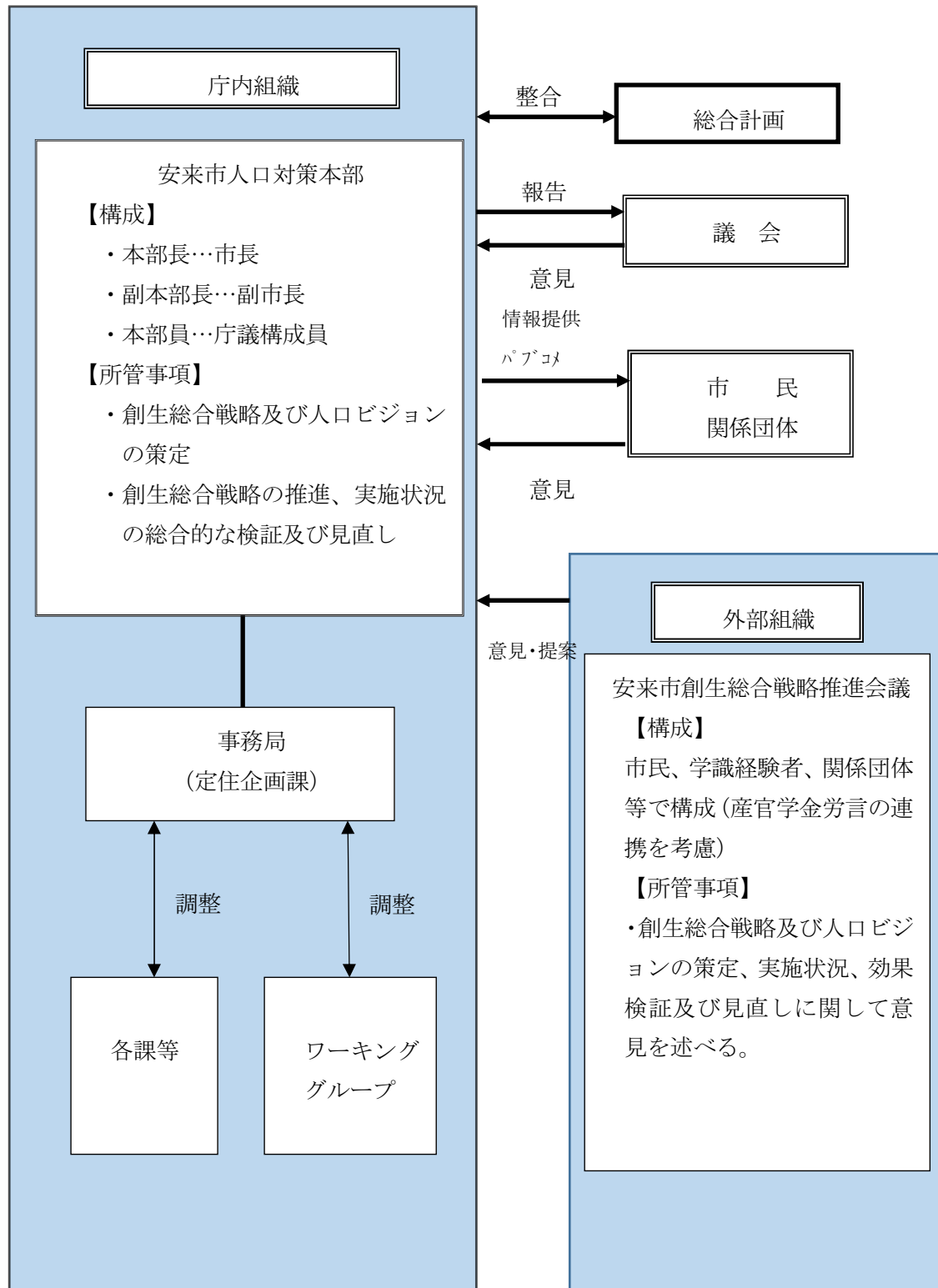
○総合計画の体系図

人が集い 未来を拓く ものづくりと文化のまち

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略

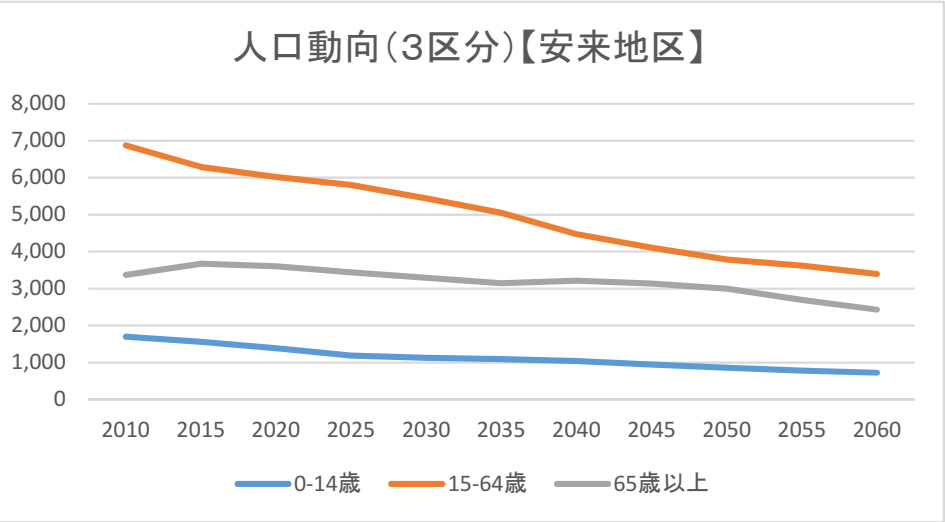


安来市人口ビジョン及び創生総合戦略策定体制



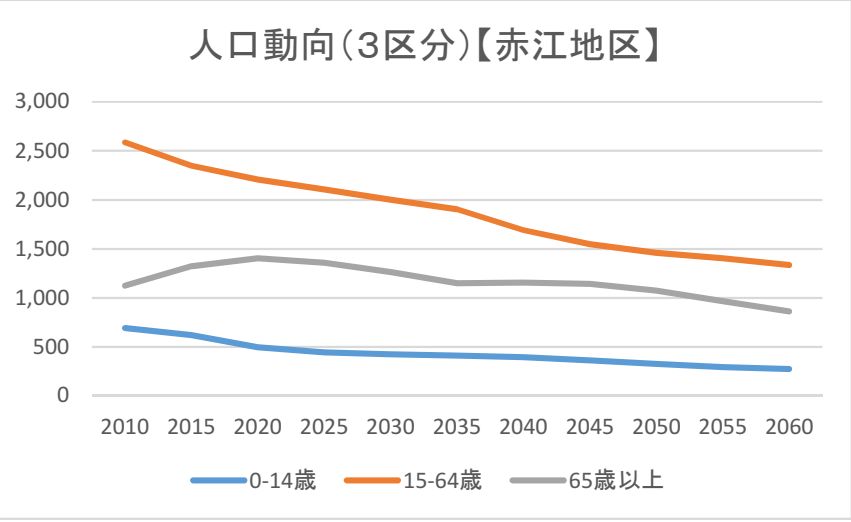
安来市の人口動態の推計(地区別の人口3区分)
【安来】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	1,697	6,873	3,371
2015	1,558	6,289	3,673
2020	1,385	6,019	3,599
2025	1,185	5,804	3,442
2030	1,129	5,436	3,294
2035	1,088	5,047	3,145
2040	1,037	4,472	3,212
2045	947	4,103	3,134
2050	855	3,785	3,001
2055	780	3,621	2,695
2060	724	3,395	2,430



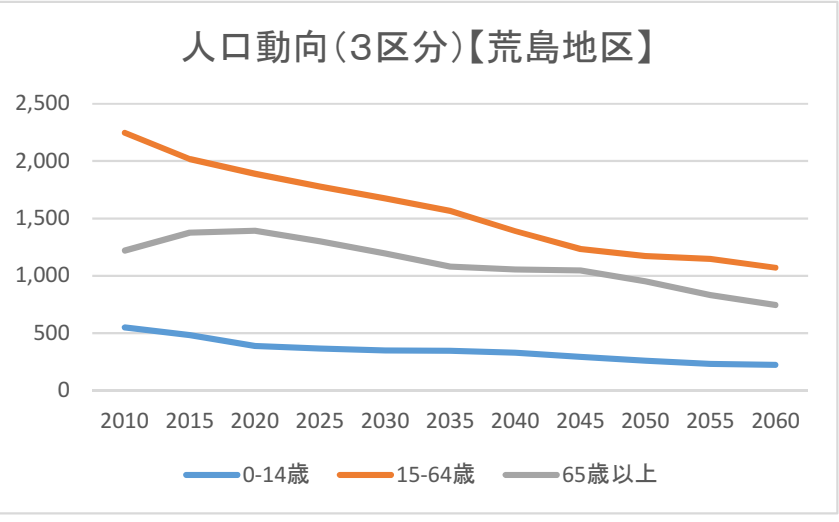
【赤江】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	692	2,586	1,122
2015	619	2,348	1,323
2020	497	2,209	1,404
2025	444	2,108	1,359
2030	424	2,002	1,264
2035	411	1,904	1,151
2040	396	1,691	1,157
2045	364	1,547	1,143
2050	327	1,460	1,075
2055	293	1,404	966
2060	275	1,335	863



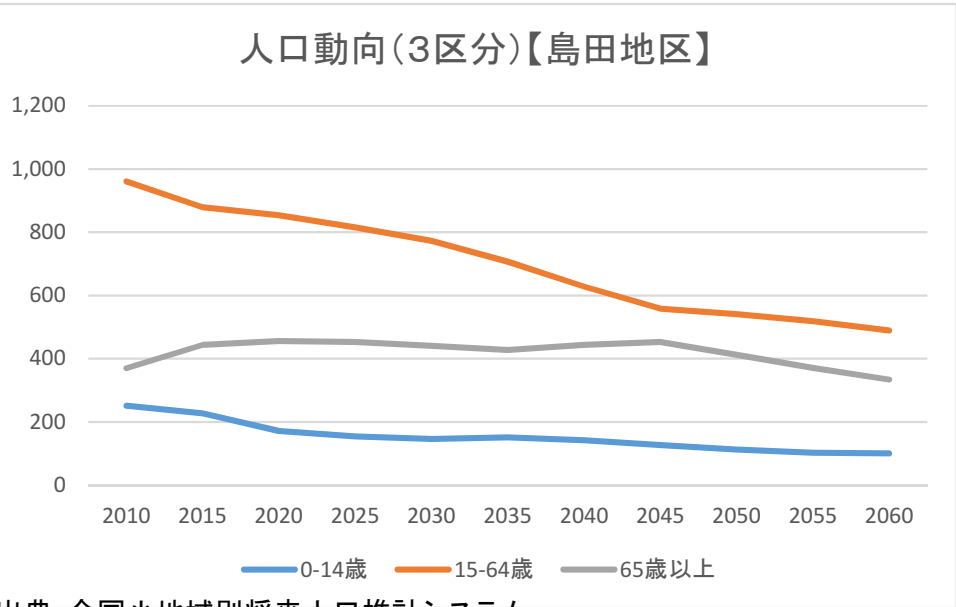
【荒島】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	550	2,247	1,221
2015	483	2,017	1,377
2020	387	1,889	1,393
2025	366	1,779	1,302
2030	350	1,674	1,196
2035	346	1,565	1,079
2040	329	1,391	1,055
2045	293	1,235	1,046
2050	260	1,173	952
2055	232	1,146	833
2060	223	1,071	745



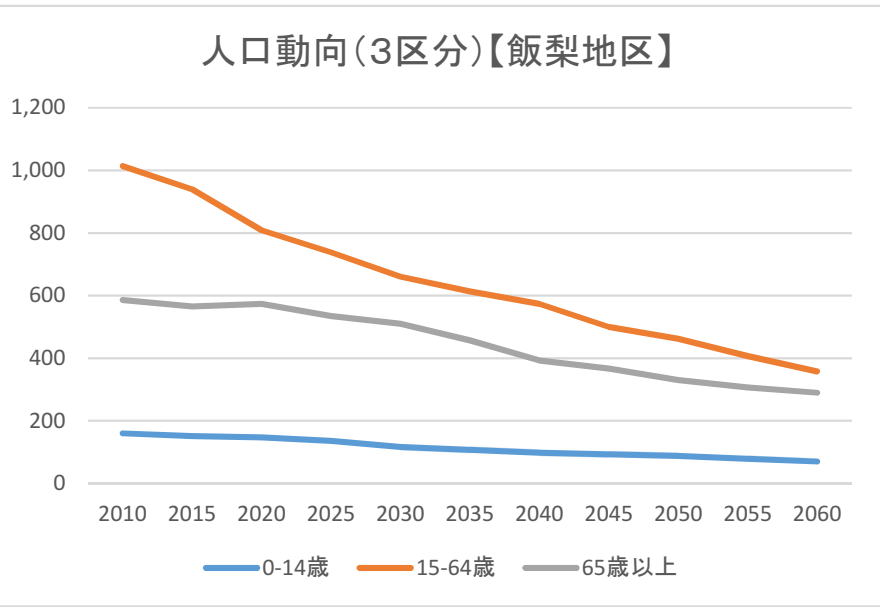
【島田】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	251	961	370
2015	227	879	444
2020	171	854	456
2025	154	815	453
2030	146	773	441
2035	151	707	427
2040	142	628	444
2045	127	558	453
2050	112	541	412
2055	102	519	371
2060	100	489	334



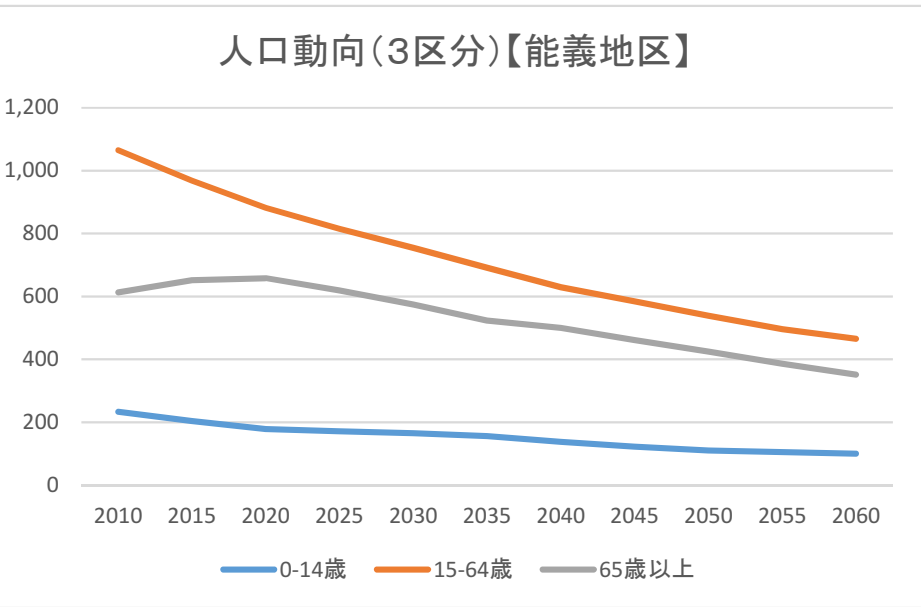
【飯梨】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	160	1,014	586
2015	151	940	565
2020	147	809	574
2025	136	738	535
2030	117	661	510
2035	107	614	457
2040	98	574	393
2045	93	500	367
2050	88	462	330
2055	79	407	307
2060	70	358	290



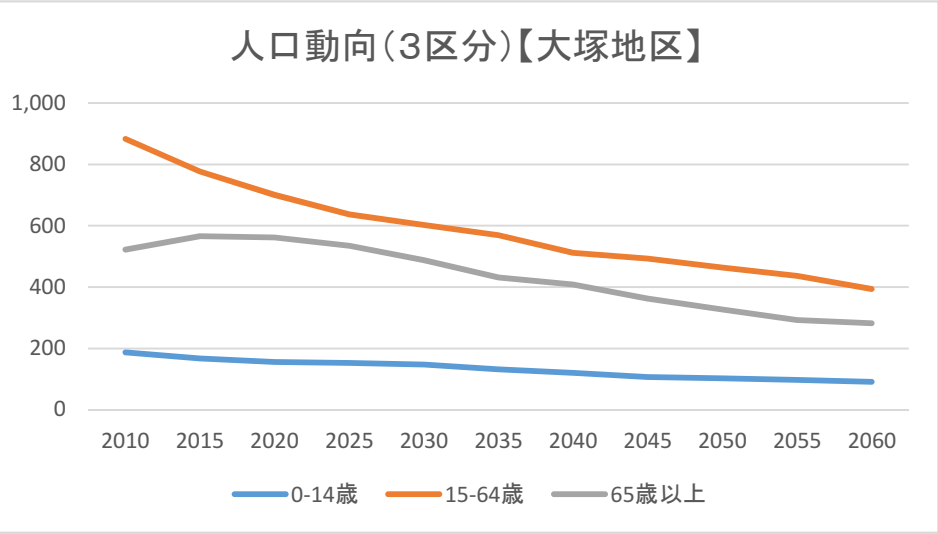
【能義】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	233	1,065	613
2015	204	968	652
2020	178	882	658
2025	171	814	619
2030	165	754	574
2035	156	691	523
2040	138	629	500
2045	122	584	461
2050	110	539	425
2055	105	496	386
2060	100	465	351



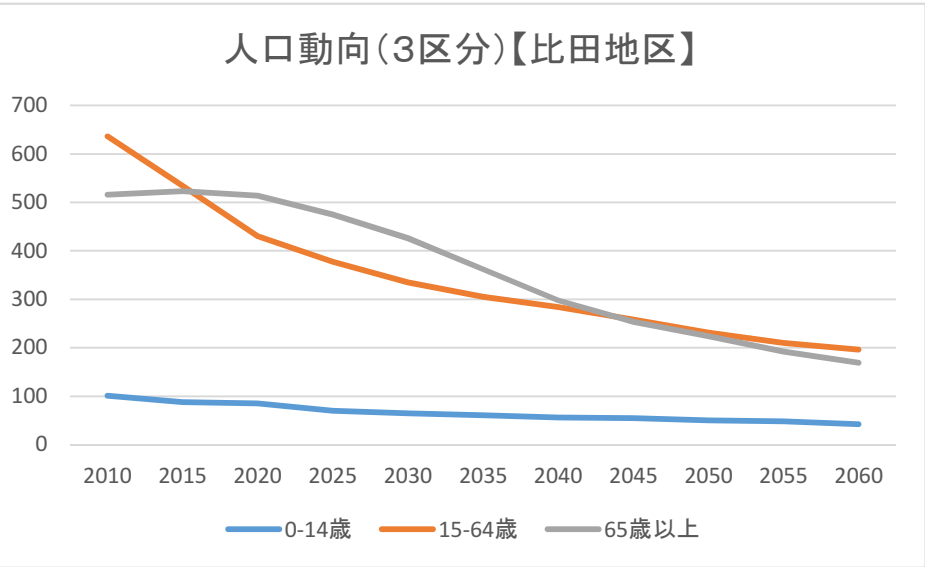
安来市の人口動態の推計(地区別の人口3区分)
【大塚】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	187	883	522
2015	167	777	566
2020	156	701	562
2025	152	637	535
2030	147	603	488
2035	132	569	431
2040	120	512	408
2045	107	493	362
2050	102	464	327
2055	97	437	292
2060	91	394	282



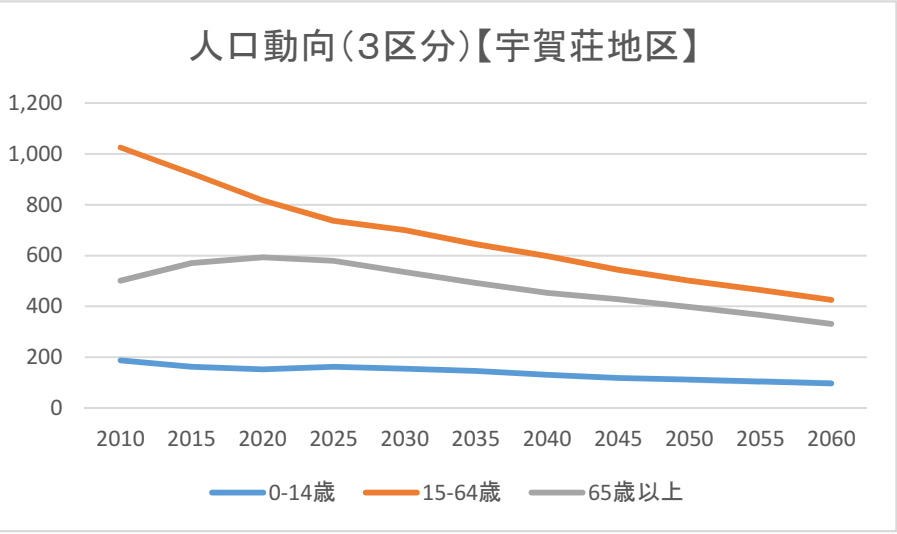
【比田】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	101	636	516
2015	88	534	523
2020	85	430	514
2025	70	377	475
2030	65	335	426
2035	61	305	362
2040	56	284	298
2045	55	258	254
2050	50	231	224
2055	48	210	192
2060	42	196	169



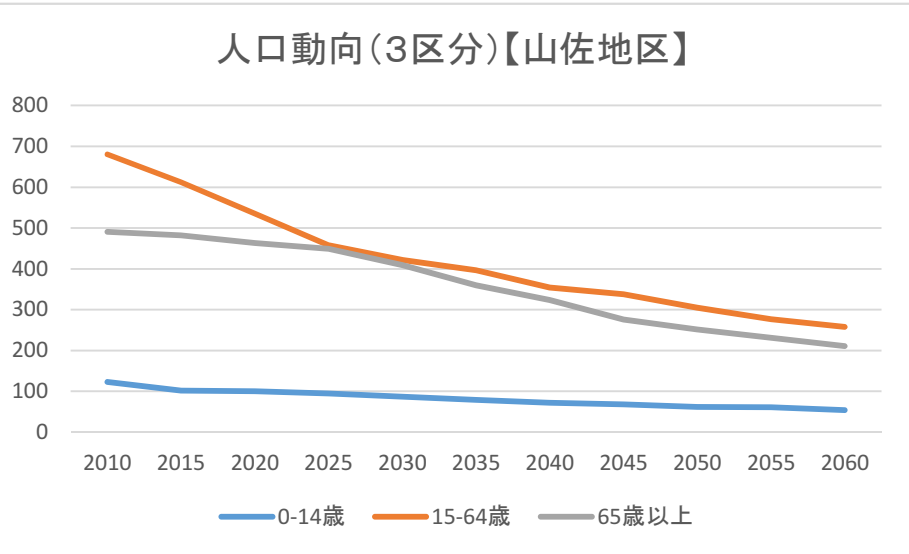
【宇賀荘】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	188	1,025	502
2015	163	923	571
2020	152	817	593
2025	162	737	579
2030	155	701	535
2035	146	645	493
2040	131	598	453
2045	119	544	428
2050	112	501	398
2055	104	465	366
2060	97	426	331



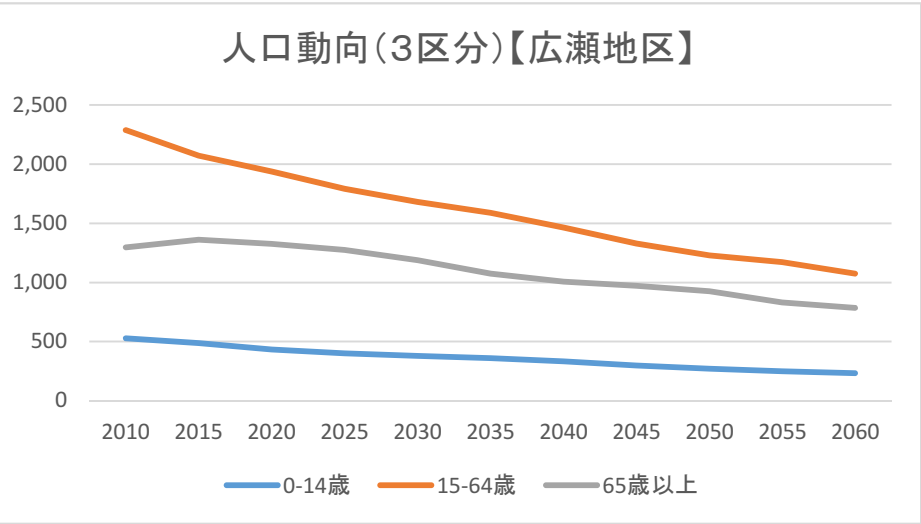
【山佐】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	123	680	491
2015	102	612	482
2020	100	535	463
2025	95	458	449
2030	87	422	409
2035	79	397	360
2040	72	354	324
2045	68	338	276
2050	62	305	252
2055	61	277	231
2060	54	258	211



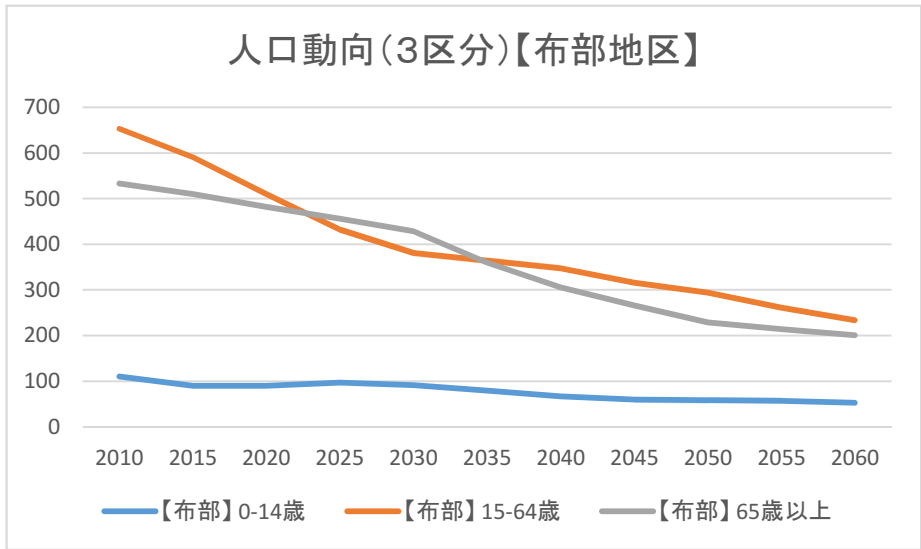
【広瀬】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	527	2,286	1,296
2015	486	2,071	1,361
2020	432	1,937	1,326
2025	402	1,791	1,274
2030	379	1,681	1,189
2035	359	1,588	1,074
2040	334	1,464	1,008
2045	298	1,329	971
2050	271	1,229	925
2055	249	1,171	831
2060	232	1,074	785



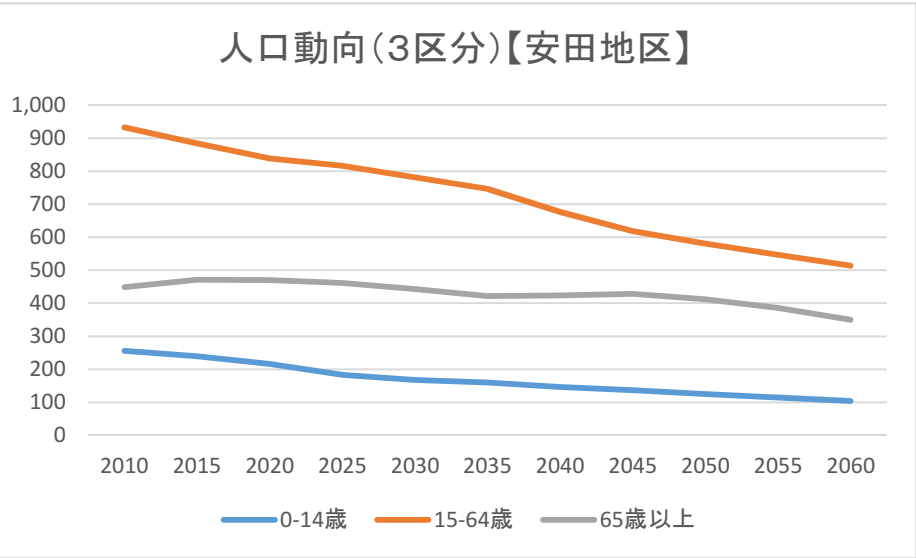
【布部】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	110	653	533
2015	90	591	510
2020	90	510	482
2025	97	432	456
2030	91	381	429
2035	79	364	360
2040	67	347	305
2045	60	316	266
2050	58	294	229
2055	57	261	214
2060	53	234	201



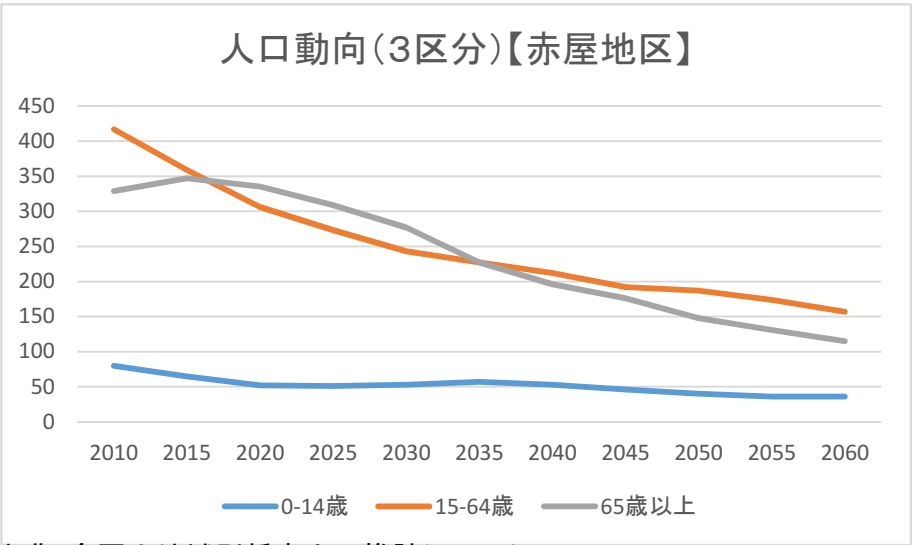
安来市の人口動態の推計(地区別の人口3区分)
【安田】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	256	932	449
2015	239	884	471
2020	216	838	470
2025	183	816	461
2030	168	781	443
2035	160	746	422
2040	146	677	424
2045	137	618	428
2050	125	581	412
2055	114	547	386
2060	104	514	350



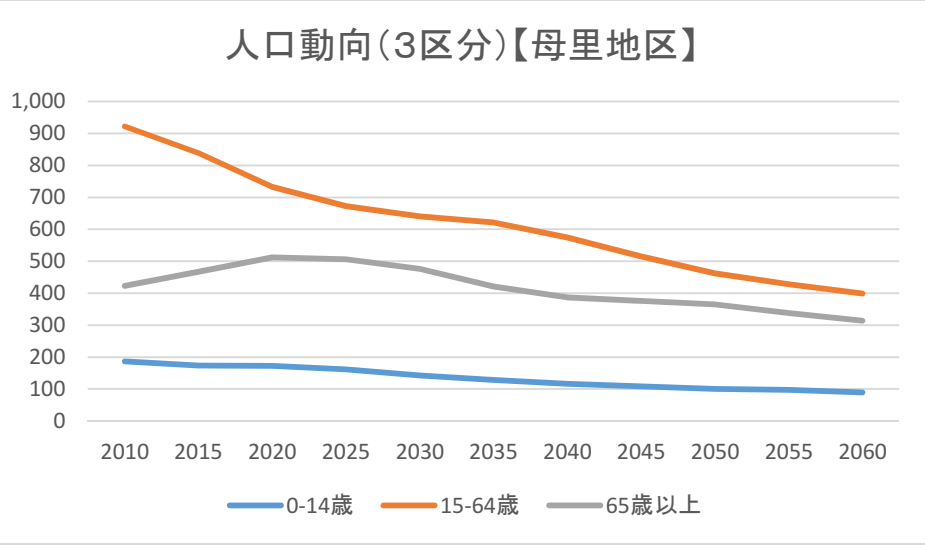
【赤屋】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	80	417	329
2015	65	359	347
2020	52	306	335
2025	51	273	309
2030	53	243	277
2035	57	227	227
2040	53	212	196
2045	46	192	176
2050	40	187	148
2055	36	174	131
2060	36	157	115



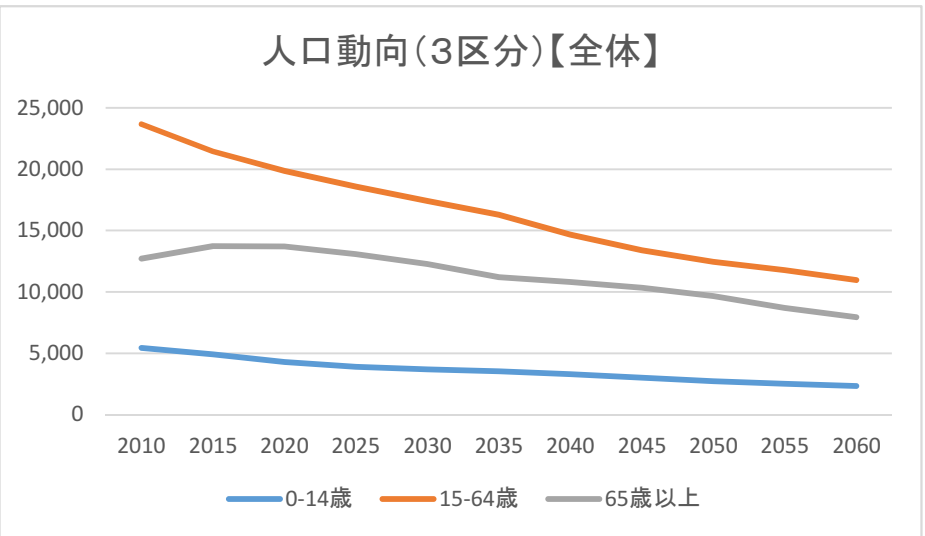
【母里】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	186	922	423
2015	173	839	467
2020	172	733	512
2025	161	673	506
2030	142	641	476
2035	128	621	421
2040	116	574	387
2045	108	515	376
2050	100	462	365
2055	97	428	338
2060	89	399	314



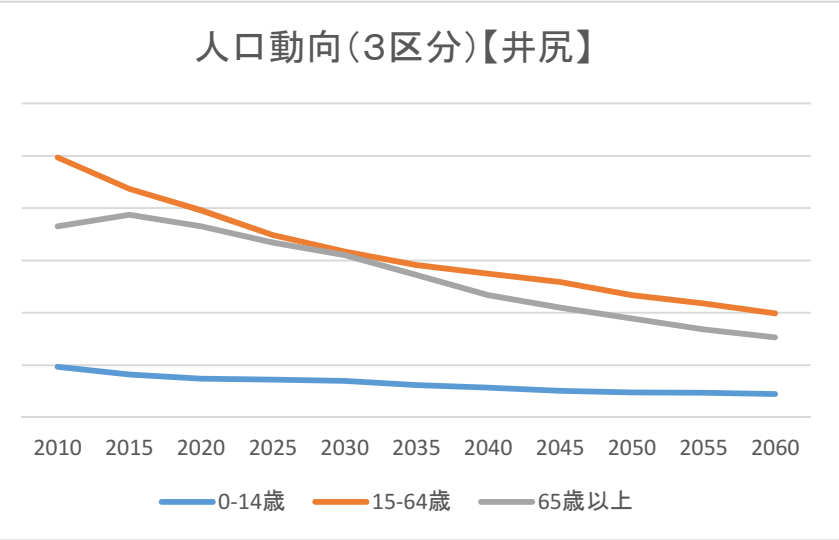
【全体】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	5,438	23,677	12,709
2015	4,897	21,468	13,719
2020	4,294	19,865	13,706
2025	3,901	18,600	13,088
2030	3,688	17,405	12,261
2035	3,522	16,281	11,204
2040	3,292	14,682	10,798
2045	2,995	13,389	10,351
2050	2,720	12,448	9,664
2055	2,501	11,781	8,707
2060	2,335	10,964	7,924



【井尻】

	0-14歳	15-64歳	65歳以上
2010	97	497	365
2015	82	437	387
2020	74	396	365
2025	72	348	334
2030	70	317	310
2035	62	291	272
2040	57	275	234
2045	51	259	210
2050	48	234	189
2055	47	218	168
2060	45	199	153



平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標1	若い世代の結婚・出産・子育てを”支援(てご)”する
-------	---------------------------

	策定時	変更後
指標	出生数	
基準値	267人(H25)	
目標値	272人(H27～H31年平均)	

※基準値は、出生届の数(4月～3月)

◆評価方法

◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)
 ○:相当程度効果があった(実績は目標を上回ることにはなかったが、目標の7～8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)
 △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)
 ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)
 ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)結婚しやすい環境づくり	結婚活動支援事業	結婚相談の実施、出会いの場の創出、婚活サポーター養成セミナーの実施等	継続	「はぴこ交流サロン」を通じた成婚数 基準値:0組(H26) 目標値:50組(累計)	1,572,679	成婚数2組	△	△	継続	定住企画課
2	(2)-①妊娠・出産・育児の支援	子育て応援サイト事業	子育てに関する行政サービス情報等を広く情報発信を行うため、「子育てタウンママフレ」を活用する。	新規	(先行型交付金分) メールマガジン登録者数 0～5歳児家庭の400件 (年間出生数260*5年*30%)	2,332,800	WEBサイトアクセス数 18,071件 登録者数38件	△	△	継続	子ども未来課
3	(2)-①妊娠・出産・育児の支援	一般不妊治療助成事業	不妊治療を受けた夫婦に対し、保険適用の一般不妊治療及び検査、人工授精の自己負担額の一部を助成する。	継続	助成件数 基準値:54人(H26) 目標値:60人(平均) (先行型交付金分) 利用者数(のべ)60件	1,628,300	利用者数(のべ)59件	○	○	継続	子ども未来課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(2)-①妊娠・出産・育児の支援	がん対策事業	集団及び個別によるがん検診の実施	継続	子宮頸がん検診受診者数 基準値: 818人(H26) 目標値: 940人(平均)	28,608,845	子宮頸がん検診受診者数 1,060人 H27より妊婦健診における 子宮頸がん検診受診者数 (253人)も含む	◎	◎	継続	いきいき健康課
5	(2)-①妊娠・出産・育児の支援	子育て講座事業	初めて子育てをする保護者の育児不安・ストレスの解消を図るため臨床心理士等による講座の開催	継続	はじめての子育て講座の受講者数 基準値: 41人(H26) 目標値: 40人(平均)	403,029	はじめての子育て講座の受講者数38人	○	○	継続	子ども未来課
6	(2)-①妊娠・出産・育児の支援	認定こども園運営事業	保護者の就労状況に係らず、柔軟に子どもを受け入れられる認定こども園への移行を推進する。	継続	認定こども園への移行数 基準値: 0箇所(H26) 目標値: 14箇所(H31)	91,173,472	認定こども園への移行数 1箇所	○	○	継続	子ども未来課
7	(2)-②地域が一体となった子育て支援	子育て支援センター事業	育児相談、イベント・子育てセミナー等を実施する。	継続	子育て支援センター利用者数 (0～2歳児) ※つどいの広場利用者含む 基準値: 607人/月(H26) 目標値: 607人/月(毎年)	3,645,458	子育て支援センター利用者数 (0～2歳児) ※つどいの広場利用者含む 497人/月(H27)	○	○	継続	子ども未来課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
8	(2)-②地域が一体となった子育て支援	ファミリーサポートセンター事業	育児に関する会員同士による相互援助活動への支援	継続	ファミリーサポートセンター利用者数(小学1～6年生) 基準値:12人/週(H26) 目標値:25人/週(H31)	6,200,000	ファミリーサポートセンター利用者数(小学1～6年生):12人/週(H27)	○	○	継続	子ども未来課
9	(2)-②地域が一体となった子育て支援	放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により日中留守している家庭の小学生児童を預かり、児童の健全育成事業を実施	継続	放課後児童クラブ利用数 基準値:275人/年(H26) 目標値:416人/年(H31)	57,852,665	335人/年	○	○	継続	教育総務課
10	(2)-②地域が一体となった子育て支援	放課後児童クラブ施設新築事業	母里、南児童クラブを新築移転する。	継続	放課後児童クラブ数 基準値:11箇所(H26) 目標値:14箇所(H31)	47,672,280	13箇所(新設2箇所)	○	○		教育総務課
11	(2)-②地域が一体となった子育て支援	みんなで子育て応援事業	独自の婚姻届、子育て支援マップの作成、出生に伴う記念品の贈呈など	新規	利用者数300人	1,636,200	利用者数230人	○	○	継続	定住企画課 子ども未来課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
12	(3)学校教育の充実・グローバル人材の育成	外国語指導事業	市内の各小中学校及び幼稚園に外国語指導助手(ALT)を派遣し、児童・生徒の国際理解を促進する	継続	未就学児の英語に親しむ活動の実施率(定期的に外国語指導助手を巡回させる幼稚園、認定こども園の割合) 基準値:-%(H26) 目標値:100%(H31)	16,638,687	未就学児の英語に親しむ活動の実施率31.3%	○	○	継続	学校教育課
13	(3)学校教育の充実・グローバル人材の育成	しまねの子育て協働プロジェクト事業	児童・生徒がふるさと安来の豊かな自然、歴史、文化に触れる各事業を実施	継続	全国学力調査の児童・生徒質問紙の回答の割合(質問:今住んでいる地域の行事に参加していますか) 基準値:小学生85.1%/中学生54.6%(H26) 目標値:小学生90.0%/中学生60.0%(H31)	6,845,600	全国学力調査の児童・生徒質問紙の回答の割合(質問:今住んでいる地域の行事に参加していますか) :小学生82.1%/中学生53.2%	×	×	継続	学校教育課
14	(3)学校教育の充実・グローバル人材の育成	安来市ジュニアマイスタープラン	市内の各小中学校及び幼稚園に地域の講師を派遣し、地元の伝統文化に触れる学習の実施	継続		1,600,000					学校教育課

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標2	産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
-------	--------------------------

	策定時	変更後
指標	20代の社会移動	
基準値	-58人(H25)	
目標値	±0人(H27～31年平均)	

※基準値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

◆評価方法

◎：非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)

○：相当程度効果があった(実績は目標を上回ることにはなかったが、目標の7～8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)

△：効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)

×：効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)

※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)-①ものづくり産業の振興	ものづくり企業技術開発等支援事業	特殊鋼関連産業との取引拡大につながる開発経費、成長分野に進出するための経費の一部を補助	継続	企業誘致及び立地促進による新規雇用者数 基準値: 41人(H22～H26) 目標値: 100人(累計) 新技術等の開発や取引拡大の支援件数 基準値: 4件(H26) 目標値: 30件(累計)	16,350,000	企業誘致及び立地促進による新規雇用者数: 35人 ・新技術等の開発や取引拡大の支援件数: 10件	◎	◎	継続	商工観光課
2	(1)-①ものづくり産業の振興	企業立地促進奨励金事業	企業等の新設、増設又は移転について、企業の投下固定資本に係る固定資産税を奨励金として交付	継続		7,166,020				継続	商工観光課
3	(1)-①ものづくり産業の振興	企業立地雇用促進奨励金事業	企業等の新設、増設又は移転について、増加固定資本総額、空き工場等の賃借料の一部、新規雇用者の人数に応じた金額を奨励金として交付する	継続		31,100,000				継続	商工観光課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(1)-①ものづくり産業の振興	工業団地整備事業	新規に工業団地を整備し、企業を誘致	新規		4,620,240				継続	商工観光課
5	(1)-①ものづくり産業の振興	ふるさと寄付推進事業	お礼の品を充実することで、特産品の販路の拡大と安来のPRを推進する	継続	ふるさと寄附の返礼品目数 基準値: 41品目 (H26) 目標値: 70品目 (H31) (先行型交付金分) 新規販路開拓5件	67,491,496	ふるさと寄附の返礼品目数 品目83品目 (同一商品で数量が異なる品目を引いた場合72品目) (先行型交付金分) 新規販路開拓10件	◎	◎	継続	定住企画課
6	(1)-②農林業の振興	新農林水産振興がらる地域応援総合事業	「やすぎ地域特産物の産地活性化と地産地消の推進」プロジェクトへの支援、新規就農者の施設整備への支援	継続	集落営農組織数 基準値: 49組織 (H27) 目標値: 59組織 (H31) 新規就農者数 基準値: 11人 (H20～H26) 目標値: 20人 (累計)	5,341,000	集落営農組織数 実績値: 53組織 新規就農者数 実績値: 2人 認定農業者数 実績値: 98組織			継続	農林振興課
7	(1)-②農林業の振興	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	農業協同組合が行うリース方式の園芸施設整備に要する経費への補助金交付	継続	認定農業者数 基準値: 102組織 (H27) 目標値: 121組織 (H31)	21,856,000		○	○	継続	農林振興課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
8	(1)-②農林業の振興	新規就農研修事業	就農希望者等への短期農業体験の実施、新規就農者研修への支援	継続		4,896,183				継続	農林振興課
9	(1)-②農林業の振興	林業活性化事業	高性能林業機械の導入及び木材の搬出経費の一部に補助金を交付	継続	新規林業従事者数 基準値: 3人(H26) 目標値: 15人(累計)	12,000,000	・新規林業従事者数3人	○	○	継続	農林振興課
10	(1)-②農林業の振興	みどりの担い手確保緊急対策事業	作業員就労条件整備事業、新規参入促進対策事業のメニューに合わせて補助金を交付	継続		3,000,000				継続	農林振興課
11	(1)-③創業支援	創業支援事業	創業・事業継承セミナーの開催、ビジネスコンテストの実施、チャレンジスペースの貸し出し、アドバイザーの雇用	新規	支援事業を通じた新規創業件数 基準値: -件(H26) 目標値: 25件(累計) (先行型交付金分) 創業支援者数55件	9,288,000	・創業支援者数5件	○	○	継続	商工観光課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
12	(2)地域資源を活かした観光振興	誘客推進事業	月山富田城誘客推進、観光ボランティアガイド、公共サインの整備、観光施設のバリアフリー化及び多言語表示の実施	新規	観光入込客数 基準値:140.5万人(H26) 目標値:145万人(平均) (誘客推進事業分) 月山周辺観光施設(絣センター・歴史資料館)入込数20,000人	3,221,040	観光入込客数 H27 1,287,206人 (誘客推進事業分) 月山周辺観光施設(絣センター・歴史資料館)入込数30,382人	○	○	継続	商工観光課
13	(2)地域資源を活かした観光振興	新・ご当地グルメ開発事業	安来市の新しいスタイルのメニューの開発	新規	(新・ご当地グルメ開発事業) メニュー提供店舗数:5店舗	3,240,000	新・ご当地グルメ開発継続中 参画店舗数:6店舗			継続	商工観光課
14	(2)地域資源を活かした観光振興	安来節振興事業	安来節演芸館を核とした観光客へのPR、各種イベント及び普及宣伝事業の実施	継続		34,285,130				継続	商工観光課
15	(2)地域資源を活かした観光振興	インバウンド推進事業	米子ーソウル便、DBSクルーズフェリー や大型クルーズ船寄港等外国人誘致の実施	継続		1,171,280				継続	商工観光課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
16	(2)地域資源を活かした観光振興	やすぎ刃物まつり事業	ハガネの街安来のPR及び中心市街地活性化を図る	継続		8,733,498				継続	商工観光課
17	(2)地域資源を活かした観光振興	月の輪まつり振興会補助事業	花火大会、市指定無形文化財事業、仁輪加・安来節公演、自治会ステージへの支援	継続		6,000,000				継続	商工観光課
18	(3)	就労支援事業	企業と新卒学生との情報提供の場の設置、求職・求人サイトへの登録企業の拡充を図る	継続	求職・求人ポータルサイト「中海圏域就職ナビ」「中海圏域ワークネット」など登録事業所数 基準値：32社（H26） 目標値：100社（H31）	1,394,183	登録事業者数33社	△	△	継続	定住企画課

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標3	住環境を向上し、市民の定住意識を高める
-------	---------------------

	策定時	変更後
指標	30代の社会移動	
基準値	-71人(H25)	
目標値	+26人(H27～31年平均)	

※基準値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

◆評価方法

◎：非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)

○：相当程度効果があつた(実績は目標を上回ることにはなかったが、目標の7～8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)

△：効果があつた(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)

×：効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)

※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)住宅の確保	空き家改修補助事業	空き屋バンク登録物件の改修に係る経費の一部を助成	継続		841,000				統合	定住企画課
2	(1)住宅の確保	定住促進支援補助事業	新婚者、Uターン者を対象に中古住宅取得への支援、家賃助成を実施 市内で住宅を取得する者に対し、その経費の一部を助成(新規)	拡充	住宅支援の補助件数 基準値:3件(H26) 目標値:550件(累計) (3世代世帯定住推進支援事業分 先行型交付金分) 助成金活用市内定住者数45人	4,694,000	住宅支援の補助件数72件 (3世代世帯定住推進支援事業分 先行型交付金分) 助成金活用市内定住者数111人	○	○	統合	定住企画課
3	(1)住宅の確保	3世代世帯定住推進補助事業	三世代世帯、新婚世帯を対象に住宅取得、増改築に係る経費の一部を助成	新規		24,000,000				統合	定住企画課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(1)住宅の確保	空き家情報登録制度(空き家バンク)	市内空き家の有効活用のため、所有者と入居希望者のマッチングを行う	継続	空き家バンク登録住宅の活用件数 基準値:12件(H26) 目標値:50件(累計)		0 空き家バンク登録住宅の活用件数15件(H26から継続分含む)	△	△	継続	定住企画課
5	(2)移住者受け入れ体制の充実	定住サポートセンター事業	定住に必要な仕事・住まい・生活情報を一元的に収集・提供すると共に、定住相談、定住後のアフターフォローの実施など定住対策のワンストップ化	新規	相談窓口を通じた移住者数 基準値:28人(H26) 目標値:126人(毎年) (先行型交付金分) 定住相談数100人 お試し住宅利用件数10件	7,280,792	相談窓口を通じた移住者数 68人 (先行型交付金分) 定住相談数172人 お試し住宅利用件数0件	△ ○	△ ○	継続	定住企画課
6	(3)まちなか等の利便性の向上	商業再生支援事業	空き店舗での出店に際し家賃及び改装費の一部を助成。中山間地域での店舗整備及び移動販売車購入に係る経費の一部を助成	継続	事業を利用した空き店舗への出店数 基準値:2件(H22～H26) 目標値:10件(累計)	3,602,000	支援件数 4件 うち空き店舗への出店支援2件	◎	◎	継続	商工観光課
7	(4)-①防災体制の整備	自主防災組織支援事業	自主防災組織活動支援のための補助やリーダー育成のための講習会の開催	継続	自主防災組織数 基準値:35組織(H26) 目標値:45組織(H31)	784,000	35組織(H27新規設立組織 0)	△	△	継続	危機管理課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
8	(4)-①防災体制の整備	消防団体制の構築事業	消防団員の教育訓練等の実施。消防団施設整備及び体制の構築	継続	消防団員数 基準値:720人(H26) 目標値:720人(H31)	80,900,189	消防団員数709人 (H28.4.1)	○	○	継続	消防総務課
9	(4)-②医療・福祉の充実	福祉専門学校就学補助事業	市内事業所の介護従事者が介護福祉士の資格を取得する際に事業主へ補助を実施	新規	福祉専門学校就学補助制度を利用した人数 基準値:-人(H26) 目標値:75人(累計) (先行型交付金分) 資格取得者数15名	1,080,000	福祉専門学校就学補助制度利用人数 3人 (先行型交付金分) 資格取得予定者数3名	△	△	継続	介護保険課
10	(4)-②医療・福祉の充実	医師・看護師確保対策事業	将来市内医療機関等への従事を希望する医学生、看護学生へ奨学金を貸与	継続	医学生、看護学生奨学制度を活用して市内医療機関等に勤務する人数 基準値:4人(H26) 目標値:12人(累計)	2,304,300	奨学金利用者数:6名 市内医療機関等への勤務者数:新規2名	○	○	継続	いきいき健康課
11	(4)-③市民の健康増進の支援	がん対策事業【再掲】	集団及び個別によるがん検診の実施	継続	胃がん検診受診者数 基準値:904人(H26) 目標値:1,480人(H31) 大腸がん検診受診者数 基準値:1,945人(H26) 目標値:2,070人(H31)	28,608,845	胃がん検診受診者数779人 大腸がん検診受診者数2,235人	× ◎	× ◎	継続	いきいき健康課

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標4	多種多様で魅力的な”地域(じげ)”を形成する
-------	------------------------

	策定時	変更後
指標	安来市への愛着度	
基準値	62.3%(H26)	
目標値	70%(H30)	

※基準値は、H26総合計画のアンケート結果

◆評価方法

◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)
 ○:相当程度効果があった(実績は目標を上回ることにはなかったが、目標の7～8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)
 △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)
 ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)
 ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)-①地域の担い手の確保・育成	地域おこし協力隊事業	市外の人材を積極的に招致し、地域の活性化等を促進するとともに、その定住及び定着を図る	新規	地域おこし協力隊制度による移住者 基準値:-人(H26) 目標値:12人(累計)	7,214,342	地域おこし協力隊制度による移住者 4人(家族含む)	◎	◎	継続	農林振興課
2	(1)-②農林業の担い手の確保・育成	新規就農研修事業【再掲】	就農希望者等への短期農業体験の実施、新規就農者研修への支援	継続	新規就農者数 基準値:11人(H20～H26) 目標値:20人(累計)	4,896,183	新規就農者数 2名	○	○	継続	農林振興課
3	(1)-②農林業の担い手の確保・育成	みどりの担い手確保緊急対策事業【再掲】	作業員就労条件整備事業、新規参入促進対策事業のメニューに合わせて補助金を交付	継続	新規林業従事者数 基準値:3人(H26) 目標値:15人(累計)	3,000,000	新規林業従事者数3人	○	○	継続	農林振興課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(2)地域の拠点づくり	地区交流センター活性化事業	各地区交流センター単位での地域活性化推進、地域ビジョンの作成、地域リーダーの研修派遣実施	新規	地域ビジョンの作成地域数 基準値:5箇所(H27) 目標値:24箇所(累計) 集落支援員の配置 基準値:-人(H27) 目標値:16人(H31) 交流センターでの「地域づくり」に関する講座開催数 基準値:各館平均1回(H27) 目標値:各館3回(毎年) (先行型交付金分) 地域づくり実践研修会参加者200名	1,768,866	地域ビジョン作成地域数:5箇所 交流センターでの「地域づくり」に関する講座開催数 今夏確定予定 地域づくり実践研修会参加者:243名	○	○	継続	地域振興課
5	(2)地域の拠点づくり	生活交通ネットワーク再編事業	生活交通網の再編、地域コミュニティと連携した生活交通網の構築	新規	1便あたりの平均乗車数10人 連携事業3件	10,952,242	1便あたりの平均乗車数6.4人 連携事業実績 1件	○ ○	○ ○	継続	市民参画課
6	(2)地域の拠点づくり	イエローバス運行事業	公共交通機関である生活バス路線の運行	継続	イエローバス利用者数 基準値:36万人(H26) 目標値:36万人(平均)	223,768,903	イエローバス利用者数332,633人	○	○	継続	市民参画課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
7	(3)-②道路ネットワークの整備	道路改良事業	道路改良事業	継続	道路改良延長 基準値：-km 目標値：13.0km(累計)	226,917,978	改良工事延長 L=890m	○	○	継続	土木建設課

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)管理シート

○基本目標 2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する

○具体的な施策 (1)-①ものづくり産業の振興

○重要業績評価指標(以下「KPI」という。)

指標名 新技術等の開発や取引拡大の支援件数

基準値 4件(H26)

目標値 30件(累計)

○事業内容

事業名	
(1) ものづくり企業技術開発等支援事業 (実績報告P5 No.1)	詳細は事業別シートP1-2(1)参照のこと
(2) 企業立地推進奨励金事業 (実績報告P5 No.2)	詳細は事業別シートP3-4(2)参照のこと
(3) 産業サポートネットやすぎ事業 (実績報告P5 No.3)	詳細は事業別シートP4-6(3)参照のこと
(4)	
(5)	
(6)	

○KPIの状況

単位:件

	H27	H28	H29	H30	H31
単年度	10	9			
期間中集計	10	19			
内部評価	◎				
外部評価	◎				

達成 ・ 未達成

○創生総合戦略推進会議の効果検証・意見等

平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度 (総合評価)	

○備考

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)管理シート

○基本目標 2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出する

○具体的な施策 (1)-①ものづくり産業の振興

○重要業績評価指標(以下「KPI」という。)

指標名 企業誘致及び立地促進による新規雇用者数

基準値 41人(H22～H26) 目標値 100人(累計)

○事業内容

事業名	
(1) 企業立地雇用促進奨励金事業 (実績報告P6 No.4)	詳細は事業別シートP7-8(1)参照のこと
(2) 工業団地整備事業 (実績報告P6 No.5)	詳細は事業別シートP9-10(2)参照のこと
(3) 中山間地域等雇用基盤強化支援事業 ※H28年度～	詳細は事業別シートP11-12(3)参照のこと
(4) 貸工場整備事業 ※H28年度～	詳細は事業別シートP13-14(4)参照のこと
(5)	
(6)	

○KPIの状況

単位:人

	H27	H28	H29	H30	H31
単年度	35	44			
期間中集計	35	79			
内部評価	◎				
外部評価	◎				

達成 ・ 未達成

○創生総合戦略推進会議の効果検証・意見等

平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度 (総合評価)	

○備考

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)管理シート

○基本目標 2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する

○具体的な施策 (1)-①ものづくり産業の振興

○重要業績評価指標(以下「KPI」という。)

指標名 ふるさと寄附の返礼品目数

基準値 41品目(H26) 目標値 70品目(H31)

○事業内容

事業名
(1) ふるさと寄附推進事業（実績報告P6 No.6）
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

詳細は事業別シートP15-16(1)参照のこと

○KPIの状況

単位:品目

	H27	H28	H29	H30	H31
単年度	83(72)	120(110)			
期間中集計	83(72)	120(110)			
内部評価	◎				
外部評価	◎				

達成 ・ 未達成

○創生総合戦略推進会議の効果検証・意見等

平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度 (総合評価)	

○備考

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)管理シート

○基本目標 2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する

○具体的な施策 (1)-②農林業の振興

○重要業績評価指標(以下「KPI」という。)

指標名 集落営農組織数

基準値 49組織(H27)

目標値 59組織(H31)

○事業内容

事業名	
(1) 新農林水産振興がらるる地域応援総合事業(実績報告P6 No.7)	詳細は事業別シートP17-18(1)参照のこと
(2) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(実績報告P7 No.8)	詳細は事業別シートP19-20(2)参照のこと
(3) 新規就農研修事業(実績報告P7 No.9)	詳細は事業別シートP21-22(3)参照のこと
(4) 就農・定住パッケージ事業 ※H28年度～	詳細は事業別シートP23-24(4)参照のこと
(5)	
(6)	

○KPIの状況

単位:組織

	H27	H28	H29	H30	H31
単年度	53	57			
期間中集計	53	57			
内部評価	○				
外部評価	○				

達成 ・ 未達成

○創生総合戦略推進会議の効果検証・意見等

平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度 (総合評価)	

○備考

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)管理シート

○基本目標 2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する

○具体的な施策 (1)-②農林業の振興

○重要業績評価指標(以下「KPI」という。)

指標名 新規就農者数

基準値 11人(H20～H26)

目標値 20人(累計)

○事業内容

事業名	
(1) 新農林水産振興ががんばる地域応援総合事業(実績報告P6 No.7)	詳細は事業別シートP17-18(1)参照のこと
(2) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(実績報告P7 No.8)	詳細は事業別シートP19-20(2)参照のこと
(3) 新規就農研修事業(実績報告P7 No.9)	詳細は事業別シートP21-22(3)参照のこと
(4) 就農・定住パッケージ事業 ※H28年度～	詳細は事業別シートP23-24(4)参照のこと
(5)	
(6)	

○KPIの状況

単位:組織

	H27	H28	H29	H30	H31
単年度	2	2			
期間中集計	2	4			
内部評価	○				
外部評価	○				

達成 ・ 未達成

○創生総合戦略推進会議の効果検証・意見等

平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度 (総合評価)	

○備考

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)管理シート

○基本目標 2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する

○具体的な施策 (1)-②農林業の振興

○重要業績評価指標(以下「KPI」という。)

指標名 認定農業者数

基準値 102組織(H27)

目標値 121組織(H31)

○事業内容

事業名	
(1) 新農林水産振興がらる地域応援総合事業(実績報告P6 No.7)	詳細は事業別シートP17-18(1)参照のこと
(2) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(実績報告P7 No.8)	詳細は事業別シートP19-20(2)参照のこと
(3) 新規就農研修事業(実績報告P7 No.9)	詳細は事業別シートP21-22(3)参照のこと
(4) 就農・定住パッケージ事業 ※H28年度～	詳細は事業別シートP23-24(4)参照のこと
(5)	
(6)	

○KPIの状況

単位:組織

	H27	H28	H29	H30	H31
単年度	98	90			
期間中集計	98	90			
内部評価	○				
外部評価	○				

達成 ・ 未達成

○創生総合戦略推進会議の効果検証・意見等

平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度 (総合評価)	

○備考

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)管理シート

○基本目標 2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する

○具体的な施策 (1)-②農林業の振興

○重要業績評価指標(以下「KPI」という。)

指標名 新規林業従事者数

基準値 3人(H26) 目標値 15人(累計)

○事業内容

事業名	
(1) 林業活性化事業（実績報告P7 No.10）	詳細は事業別シートP25-26(1)参照のこと
(2) 中間土場整備事業 ※H28年度～	詳細は事業別シートP27-28(2)参照のこと
(3) 特用林産物振興事業 ※H28年度～	詳細は事業別シートP29-30(3)参照のこと
(4) みどりの担い手確保緊急対策事業（実績報告P7 No.11）	詳細は事業別シートP31-32(4)参照のこと
(5)	
(6)	

○KPIの状況

単位:人

	H27	H28	H29	H30	H31
単年度	3	1			
期間中集計	3	4			
内部評価	○				
外部評価	○				

達成 ・ 未達成

○創生総合戦略推進会議の効果検証・意見等

平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度 (総合評価)	

○備考

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)管理シート

○基本目標 2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する

○具体的な施策 (1)-③創業支援

○重要業績評価指標(以下「KPI」という。)

指標名 支援事業を通じた新規創業件数

基準値 -件(H26) 目標値 25件(累計)

○事業内容

事業名	
(1) 創業支援事業（実績報告P8 No.12）	詳細は事業別シートP33-34(1)参照のこと
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

○KPIの状況

単位:人

	H27	H28	H29	H30	H31
単年度	5	9			
期間中集計	5	14			
内部評価	○				
外部評価	○				

達成 ・ 未達成

○創生総合戦略推進会議の効果検証・意見等

平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度 (総合評価)	

○備考

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)管理シート

○基本目標 2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する

○具体的な施策 (2)地域資源を活かした観光振興

○重要業績評価指標(以下「KPI」という。)

指標名 観光入込客数

基準値 140.5万人(H26)

目標値 145万人(平均)

○事業内容

事業名	
(1) 誘客推進事業（実績報告P8 No.13）	詳細は事業別シートP35-36(1)参照のこと
(2) 新・ご当地グルメ開発事業（実績報告P8 No.14）	詳細は事業別シートP37-38(2)参照のこと
(3) 安来節振興事業（実績報告P8 No.15）	詳細は事業別シートP39-40(3)参照のこと
(4) インバウンド推進事業（実績報告P9 No.16）	詳細は事業別シートP41-42(4)参照のこと
(5) やすぎ刃物まつり事業（実績報告P9 No.17）	詳細は事業別シートP43-44(5)参照のこと
(6) 月の輪まつり振興会補助事業（実績報告P9 No.18）	詳細は事業別シートP45-46(6)参照のこと

○KPIの状況

単位:人

	H27	H28	H29	H30	H31
単年度	1,287,206	1,552,884			
期間中集計	1,287,206	1,552,884			
内部評価	○				
外部評価	○				

達成 ・ 未達成

○創生総合戦略推進会議の効果検証・意見等

平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度 (総合評価)	

○備考

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)管理シート

○基本目標 2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する

○具体的な施策 (3)若者・女性等の就職支援の充実

○重要業績評価指標(以下「KPI」という。)

指標名 求職・求人ポータルサイト「中海圏域就職ナビ」登録事業所数

基準値 32社(H26) 目標値 100社(H31)

○事業内容

事業名
(1) 就労支援事業（実績報告P8 No.19）
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

詳細は事業別シート47-48(1)参照のこと

○KPIの状況

単位: 社

	H27	H28	H29	H30	H31
単年度	33	36			
期間中集計	33	36			
内部評価	△				
外部評価	△				

達成 ・ 未達成

○創生総合戦略推進会議の効果検証・意見等

平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度 (総合評価)	

○備考

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(1)

事業名	ものづくり企業技術開発等支援事業（実績報告P5 No.1）		
	（管理シート P1）		担当部署 商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
------	----------------------------

具体的な施策	(1)-①ものづくり産業の振興
--------	-----------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
16,350,000	11,561,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成 27 年度	特殊鋼関連産業との取引拡大に繋がる経費の一部を補助。 ・特殊鋼関連産業成長分野進出助成金 4件 16,350,001円	しまね産業振興財団が所管する助成金に対する上乗せ補助であるので、包括協定を締結している当財団との情報の共有化を図っていく。 また、予算確保の為に奨励金の交付見込みを立てておく必要がある。	対象企業からは喜んでいただいている。	有
			次年度での対応 安来市の特色がある産業なので引き続き支援していく。	
平成 28 年度	特殊鋼関連産業との取引拡大に繋がる経費の一部を補助。 ・特殊鋼関連産業成長分野進出助成金 3件 11,561,000円	しまね産業振興財団が所管する助成金に対する上乗せ補助であるので、包括協定を締結している当財団との情報の共有化を図っていく。 また、予算確保の為に奨励金の交付見込みを立てておく必要がある。	対象企業からは喜んでいただいている。	有
			次年度での対応 安来市の特色がある産業なので引き続き支援していく。	
平成 29 年度				
			次年度での対応	
平成 30 年度				
			次年度での対応	
平成 31 年度				
			次年度での対応	

【ものづくり企業技術開発支援補助金】

安来市の代表的な集積産業である特殊鋼関連産業をはじめとするものづくり企業のうち、技術力強化や取引拡大に努める企業における新製品、新技術の開発等について、その取り組みに要した費用の一部を定率で補助する。

【事業概要】

- 対象事業：平成26年4月1日以降に、しまね産業振興財団が所管する以下の助成金（以下、「財団助成金」）の交付決定を受けた事業。ただし、安来市企業立地促進条例（平成25年安来市条例第4号）に基づく奨励金の交付対象とした設備等については補助対象外とする。

（1）特殊鋼産業成長分野進出促進助成金

（2）戦略的ビジネスパートナー獲得支援助成金

- 補助率：財団助成金の交付確定額の1/2以内（1,000円未満の端数切り捨て）

対 象 事 業	特殊鋼産業成長分野進出促進助成金の交付決定を受けた事業	戦略的ビジネスパートナー獲得支援助成金の交付決定を受けた事業
対象要件 及び 補助率等	ものづくり企業が航空機、エネルギー、次世代自動車などの成長分野へ進出のために取り組む、新製品の開発又は試作若しくは新技術の開発を行う事業。 ①県内取引拡大型： 企業が特殊鋼関連産業との取引を伴って取り組む事業（限度額50万円） ②成長分野進出型： 特殊鋼関連企業が成長分野に進出するために取り組む事業（限度額250万円） ③企業連携型： 上記②のうち、複数の企業等が連携して取り組む事業（限度額375万円） ④特認事業： 上記②のうち、航空機又はエネルギー分野への進出に組み、県知事が特に認める事業（限度額500万円）	県内製造業者(中小企業等)が県内外企業等への派遣研修又は派遣研究を実施する取り組みや県内外企業から技術指導の受け入れを実施する取組みであり、以下の要件を満たすもの。 ①当該企業にとって新分野進出又は技術力強化が見込まれる事業であること。 ②優れた経営資源、医術資源を持つ県内外企業等への派遣又は県内外企業等からの技術指導の受け入れであり、事業終了後に新たな取引の開始や拡大が見込まれる事業であること。 ③概ね、連続1ヶ月以上の派遣又は年間30日程度の技術指導の受け入れ、研究・開発への参画のための派遣に係る事業であること。 ④事業終了後、県内において事業展開する計画であること。 限度額：100万円

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(3)

事業名	企業立地推進奨励金事業 (実績報告P5 No.2)		
	(管理シート P1)	担当部署	商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
------	----------------------------

具体的な施策	(1)-①ものづくり産業の振興
--------	-----------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
7,166,020	4,336,536			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	・企業立地促進奨励金事業 3件 7,166,020円	平成25年度から改正安来市企業立地促進条例に基づく制度に移行したので、改正前の制度であるこの事業については、平成28年度をもって終了する予定である。	該当企業においては喜んでいただいている。 次年度での対応 改正安来市企業立地促進条例に基づく企業立地雇用奨励金事業で支援をしていく	
平成28年度	・企業立地促進奨励金事業 2件 4,336,536円	平成25年度から改正安来市企業立地促進条例に基づく制度に移行したので、改正前の制度であるこの事業については、本年度をもって終了する。	該当企業においては喜んでいただいている。 次年度での対応 改正安来市企業立地促進条例に基づく企業立地雇用奨励金事業で支援をしていく	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

改正前 安来市企業立地促進条例に基づく奨励金

【企業立地奨励金】

企業等の新設、増設または移転について要件を満たす場合、事業開始した当該新設に対する新たな固定資産税が課されることとなった年度から３年間、各年度の当該固定資産税相当額を、当該固定資産税が完納された各年度の翌年度に奨励金として交付する。

【事業概要】

- 限度額：２５００万円（３年間の合計額）
- 要件：施設の新設、増設または移転に伴う投下固定資本総額が１億円（中小企業にあっては２,５００万円）以上で、かつ増加従業員数が常時５人（中小企業にあっては２人）であること。
- 助成額等

助成額	新設、増設又は移設による新たな固定資産税相当額 (限度額 2500 万円)
期 間	新たに課税されることとなった年度から３年間
交付時期	当該固定資産税が完納された年度の翌年度に交付

○安来市企業立地促進条例は、平成２５年３月２６日に改正された。改正前の安来市企業立地促進条例に基づく奨励措置の適用を受けている者に係る奨励措置については、なお従前の例によるものとされている。

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(2)

事業名	産業サポートネットやすぎ事業 (実績報告P5 No.3)		
	(管理シート P1)	担当部署	商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出する
------	-------------------------

具体的な施策	(1)-①ものづくり産業の振興
--------	-----------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
19,287,000	21,716,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	・やすぎ夢迫人支援事業 2件 1,891,000円 ・新商品新技術開発支援事業 (財団助成型) 4件 1,046,000円	やすぎ夢迫人支援事業については、新商品開発、販路拡大、ブランド推進等の複合した事業展開が必要であるので、伴走型の支援が必要である。	支援事業者は積極的に事業の展開を実施している。	有
			次年度での対応	
			商工会議所、商工会、JAと連携を取りながら引き続き支援していく。	
平成28年度	・やすぎ夢迫人支援事業 6件 10,155,000円	やすぎ夢迫人支援事業については、新商品開発、販路拡大、ブランド推進等の複合した事業展開が必要であるので、伴走型の支援が必要である。	支援事業者は積極的に事業の展開を実施している。	有
			次年度での対応	
			商工会議所、商工会、JAと連携を取りながら引き続き支援していく。	
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

安来市経済活性化事業支援プログラム ～やすぎ夢達人支援事業～

個人、事業者等が新規に取り組む事業で、販路の拡大やブランド化の推進など安来市の経済活性化につながる総合的な取組に対して支援します。

●対象者 安来市内に居住する個人・市内に立地する企業及び団体等

●対象事業

下記の2項目以上に該当する事業が対象となります。

- (1) 創業等に関する事業
- (2) 新商品の開発等に関する事業
- (3) 販路の拡大等に関する事業
- (4) ブランド推進等に関する事業
- (5) その他安来市の経済活性化に効果のある事業

●対象経費

謝金・旅費・消耗品費・原材料購入費・その他事業実施に必要と認められる経費。ただし設備経費(器具費、工事費など)は制限あり。

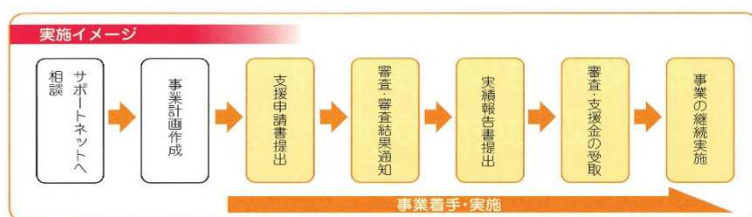
●補助率 対象経費合計額の4/5以内の額(1,000円未満切捨) 限度額200万円

●受付期間 4月から10月末まで

●その他

事業について、担当者が計画段階からサポートします。

申請時及び実績報告時に審査会が開催され、支援の可否を決定します。



安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(1)

事業名	企業立地雇用促進奨励金事業 (実績報告P6 No.4)		
	(管理シート P2)	担当部署	商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
------	----------------------------

具体的な施策	(1)-①ものづくり産業の振興
--------	-----------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
31,100,000	64,657,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成 27 年度	企業等の新設、増設又は移転に対する奨励金 ・立地奨励金 (増加固定資本総額の10%相当額) (限度額3,000万円) 1件 30,000千円 ・雇用奨励金 (新規常用雇用者数×10万円) (市内居住者) 2件 1,100千円	立地奨励金については、限度額が高額であり、新設や増設が数件重なると、予算確保が困難となるので、企業の動向、情報を入手し、奨励金の交付見込みを立てておく必要がある。	新設、増設時に奨励金が交付されるので反応が良い。	有
			次年度での対応	
			ソフト産業の限度額を下げたり、小規模企業、中山間地域加算、改装費等助成を加えるなどの、制度の拡充を図る。	
平成 28 年度	企業等の新設、増設又は移転に対する奨励金 ・立地奨励金 (増加固定資本総額の10%相当額) (限度額3,000万円) 3件 62,757千円 ・雇用奨励金 (新規常用雇用者数×10万円) (市内居住者) 3件 1,900千円	立地奨励金については、限度額が高額であり、新設や増設が数件重なると、予算確保が困難となるので、企業の動向、情報を入手し、奨励金の交付見込みを立てておく必要がある。	新設、増設時に奨励金が交付されるので反応が良い。	有
			次年度での対応	
			引き続き、企業情報等を入手し、対象企業と協議をしていく。	
平成 29 年度				
			次年度での対応	
平成 30 年度				
			次年度での対応	
平成 31 年度				
			次年度での対応	

事業名： 企業立地雇用促進奨励金事業（実績報告P6 No.4）

担当部署：商工観光課

【企業立地雇用促進奨励金】

企業等の新設、増設または移設について要件を満たす場合、増加固定資本総額に応じた補助を行うほか、空き工場等を賃貸借する場合の家賃に対する補助や、新規に雇用する常用雇用者数（市内居住者に限る。）に応じた補助を行う。

【事業概要】

- 要件：立地に伴う投下固定資本総額が1億円（中小企業にあつては2,500万円、ソフト産業にあつては大企業、中小企業の別に限らず1,000万円）以上、かつ新規雇用従業員数が常時5人（中小企業にあつては2人）であること。ただし、工場等の増設又は移設を行う場合は雇用者数の維持を条件とし、従業員数の増加を求めない。

●助成額：

	立地奨励金	空き工場等活用奨励金	雇用促進奨励金
助成額	増加固定資本総額の10%相当額（1,000円未満の端数切捨て）ただし、次のア、イに該当する場合は助成率にそれぞれ10%を加算。 ア 小規模企業者 イ 中山間地域への立地 ※ア、イの加算は併用可。	・ 空き工場等の改装費の3/4の額（1,000円未満の端数切捨て） ・ 建物の月額賃料（共益費等を除く）またはリース料の1/2の額（1,000円未満の端数切捨て）	新規常用雇用者数のうち、安来市の住民基本台帳に記載されている者の人数×10万円
限度額	30,000千円	月額20万円、年度当たり240万円（操業開始の日の属する月から60月以内）	総額で1,500万円以内（操業開始の日の属する年度から3年以内）

※小規模企業者：中小企業基本法第2条第5項に規定する事業者（常用従業員数20人（商業又はサービス業の場合は5人）以下の事業者）

※中山間地域：広瀬地区または伯太地区

- 業種：製造業、ソフト産業等、その他市長が適当と認める業種

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(2)

事業名	工業団地整備事業（実績報告P6 No.5）		
	（管理シート P2）		担当部署 商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用場を創出する
------	---------------------------

具体的な施策	(1)-①ものづくり産業の振興
--------	-----------------

○事業費

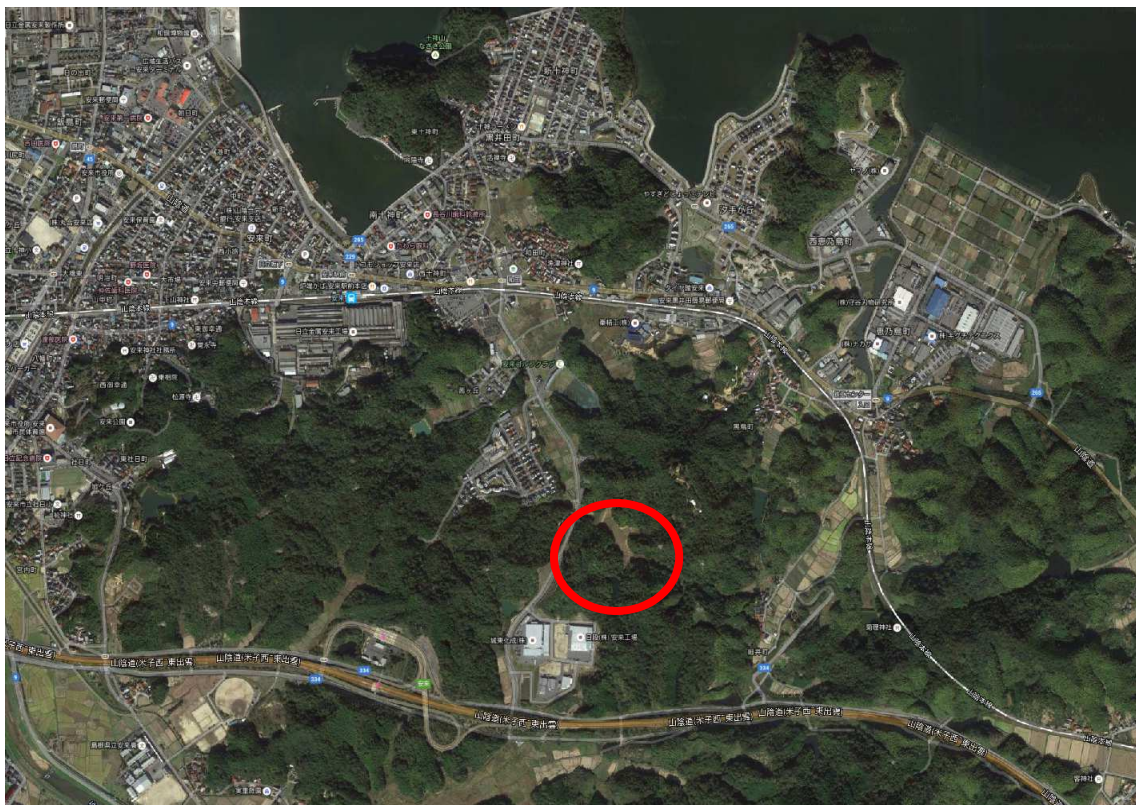
単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
4,620,240	21,914,280			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	平成26年度に実施した、工業団地適地選定調査事業の結果を基に、評価点数の上位3カ所について、基本計画図の作成と概算事業費の算出及び土地状況調査を実施し、概算事業費と土地条件について比較検討を行った。	工業団地の早期整備に向けて、これまで行った調査の結果や、企業からの意見等を踏まえて、早期に造成場所の選定に取り組む必要がある。	次年度での対応 今年度の検討結果に基づき、工業団地の基本設計、地質調査、測量調査の実施に取り組む。	有
平成28年度	平成28年5月に、安来インター工業団地の北側にある山林地帯に新たな工業団地を造成することを決定した。 その後、庁内関係部署からなる工業団地整備推進会議を開催し、情報の共有と事業の推進を図った。 また、測量・調査・設計業務、用地測量調査業務を実施した。	測量・地質調査を開始したところ、ため池や切土部に検討を要する必要がある、当初見込みより詳細な調査・検討が必要となった。	次年度での対応 地元説明会では、概ね賛同していただいている様子である。 工業団地の造成等について、完成までのスケジュール管理が必要である。	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

安来市新工業団地造成予定地 位置図



安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(3)

事業名	中山間地域等雇用基盤強化支援事業 ※H28年度～		
	(管理シート P2)	担当部署	商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
------	----------------------------

具体的な施策	(1)-①ものづくり産業の振興
--------	-----------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
	0			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	中山間地域等において企業の新たな設備投資を支援するもの。 島根県の事業化に伴い、補助金の交付要綱を作成し、対象になるとされる企業との相談を開始した。	島根県が制度化した助成制度であるが、対象企業が限定的であり、適用の企業が1社程度しかない。	対象企業が1社であるが、適用に向け協議している。	有
			次年度での対応 対象企業と協議を進める。	
平成28年度	中山間地域等において企業の新たな設備投資を支援するもの。 島根県や企業との協議の結果、事業費の変更に伴い、この事業ではなく、他の事業での支援を受けることとなり、この事業の実施はなくなった。	結果的にはこの事業の支援企業は今のところない見込みである。	協議中の企業については他事業適用へ変更となった。	有
			次年度での対応 平成29年度が申請の最終年度であるので、対象企業があれば協議していく。	
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

【補足資料(3)】

平成27年度

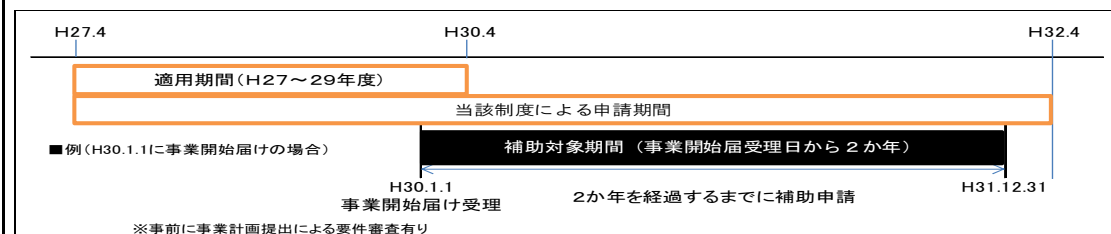
事業名： 中山間地域等雇用基盤強化支援事業 ※H28年度～

担当部署：商工観光課

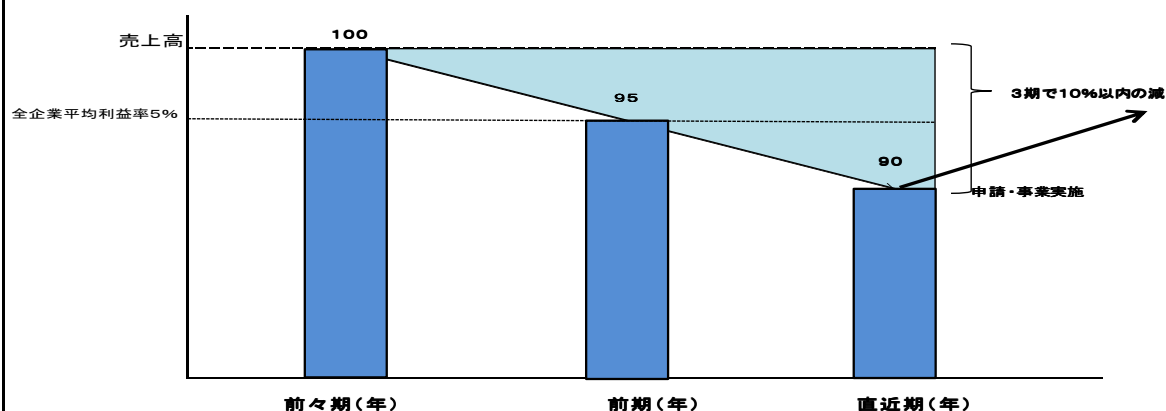
○制度概要等

名 称	中山間地域等雇用基盤強化支援補助金	(参考)生産拠点化補助金
目 的	中山間地域等において、地域の雇用や経済の中核を担う企業が、コスト競争力の向上や技術革新を図る目的で新たに設備投資を行う場合、雇用の維持を条件に、市町村とともにその設備投資を支援	他県に工場を有する企業が、県内工場を生産拠点化すること等を目的に設備投資する場合に、雇用の維持を条件に、その設備投資を支援
補助スキーム	市町村を通じた間接補助	直接補助
中山間地域等 (対象地域)	「地域指定」の過疎地域及び旧益田市、旧安来市 (※企業立地促進助成金における過疎地域立地加算地域と同じ)	全域
対象企業	中山間地域等に立地する企業であって、常用従業員10名以上のもの。(製造業に限る) 申請時の直近期の売上高が、前々期に比して増加していないこと。 ただし、前々期に比して10%以上減少しているなど、設備投資により経営が悪化すると見込まれる場合は対象企業としない。	他県に工場を有する企業で、県内の常用従業員50人以上の企業
投資要件	50,000千円以上	300,000千円以上
補助対象期間	補助事業開始届受理日から2年間	
雇用要件	補助金交付申請時の雇用者数が、事業開始届の雇用者数を下回らないこと	
補助率	投資額の10%以内で市町村補助額の1/2	投資額の10%以内
限度額	30,000千円	500,000千円(見直し前) →300,000千円(見直し後)
適用期間	平成27年度～平成29年度	平成23年度～平成28年度
その他	商工会議所等の指導を継続して受ける体制が確保され、設備投資による業績の改善計画を有すること	

【参考1】適用期間と補助対象期間



【参考2】売上高要件



《補助対象企業の要件》

○申請時の直近期の売上高が、前々期に比して増加していないこと。

ただし、前々期に比して10%以上減少しているなど、設備投資により経営が悪化すると見込まれる場合は対象企業としない。

(根拠)

中小企業信用保険法

第2条第5項(セーフティーネット保証制度)の企業認定基準を参考とした。

○最近3か月間の売上高等が前年同期の売上高に比して5%以上減少していること。

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(4)

事業名	貸工場整備事業 ※H28年度～		
	(管理シート P2)	担当部署	商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出する
------	-------------------------

具体的な施策	(1)-①ものづくり産業の振興
--------	-----------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
	96,390			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	企業の要望に応じて設計・建築する安来市オーダーメイド貸工場等条例及び施行規則を制定し、事業の制度化を図った。	応募企業があるように、公募の手法や期間等に工夫が必要である。	次年度での対応 場所の決定、公募から審査会、使用企業の決定、仕様の決定等を実施する。	有
平成28年度	企業の要望に応じて設計・建築する貸工場等の設置場所を3つの候補地から、広瀬町下山佐の太陽とみどりの里用地に決定した。 使用希望企業の公募を行った結果、2社からの応募があり、審査会を開催し、使用企業の順位を決定した。上位の企業と貸工場等の仕様等に関し協議を行い、事業費の積算を行った。	使用企業が希望する仕様と事業費の調整が必要である。	市内企業、市外企業から各1社応募があった。 次年度での対応 使用希望企業との協議のうえ、貸工場等について設計、工事を行い、企業の操業を支援する。	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

島根県 安来市 オーダーメイド貸工場等整備事業 応募者募集のご案内

安来市では、中山間地域への企業誘致を推進し、中山間地域の産業の振興及び雇用の拡大を図るため、企業の要望に応じて設計・建築するオーダーメイド型の貸工場・貸事務所の設置を計画しています。

9月から10月にかけて、そのオーダーメイド型の貸工場・貸事務所の使用を希望する事業者を募集します。

整備費上限 **1億円**

募集期間

平成28年9月12日(月)から
平成28年10月31日(月)まで

～オーダーメイド型貸工場・貸事務所の3大メリット～

- ★土地と建物に関する初期投資が不要！
- ★自社のニーズに応じた工場を賃貸で使用できる！
- ★土地と建物に係る固定資産税がかからない！

人が集い 未来を拓く ものづくりと文化のまち 安来(やすぎ)

安来市は、自然豊かな環境、伝統工芸の産地として、島根県の経済発展に貢献しています。また、近年は、人口減少が進む中、若者の定住を促すため、様々な施策を実施しています。この中で、オーダーメイド型貸工場・貸事務所の整備は、企業の誘致に大きく貢献すると期待されています。



公募チラシ（表）

募集要項

募集する事業者は、安来市の数や業種など(1)の条件を満たす事業者です。また、応募の条件は、(2)の条件を満たす事業者の募集となります。

(1)事業者の要件	
資本金等	資本金又は出資の総額が1億円以上の法人
業種	①製造業(日本標準産業分類に属する製造業) ②ソフト産業 ③その他市長の選定と認める業種
その他	・市税を滞りなく納付していること。 ・貸工場等の建設的又は修繕的又は設備的増改築による修繕や増築を必要とするものではないこと。
(2)事業計画の要件	
計画投資額	2,000万円以上 ※ただし、1万円未満の整備費の整備は認めない。
雇用人数	・使用開始時：新規雇用従業員2人以上 ・使用開始後3年以内：新規雇用従業員5人以上 ※新規雇用従業員は、1人単位で雇用する場合は、安来市に新規雇用された従業員が、1人単位で雇用された従業員と見做される。

- 設備費の上限について
貸工場等の整備費の上限は1億円(建設費に限り、整備費に限り、設備費に限り、土地費に限り、その他に限り)とする。
- 審査・決定について
応募者を選定するため、審査を実施して、応募者の実績や事業計画の進捗状況や信用状を確認し、決定する。
- 使用料について
・使用料は、使用開始後3年以内は、0円とする。
・使用開始後3年を超えた後は、整備費の60%の1/1,000の年率の減額(10%未満の場合は10%)とする。
- 使用開始について
・使用開始の時期は、原則1年以内とする。
- 使用料の費用負担について
・貸工場の使用料は、使用開始後3年以内は、0円とする。
・その他の費用(電気代、水道代、ガス代、電話代、インターネット代等)は、事業者が負担する。

事業スケジュール

H28年 9月	募集開始(応募締切：10月31日)
11月	応募者の書類審査 審査委員会の開催 使用企業の決定
12月	使用企業との協議・契約締結
H29年 4月	貸工場等の整備着手
H30年 3月	貸工場等の使用開始(予定)

整備計画地 航空写真



整備計画地 広域地図



安来市オーダーメイド貸工場等整備事業への応募 お問い合わせ先

安来市 政策推進部 商工観光課 工業振興係
〒692-0207 島根県安来市柏太町東町番680 安来市役所柏太庁舎1階
TEL: 0854-23-3348 FAX: 0854-23-3362 E-MAIL: shoukou@city.yasugi.shimane.jp

公募チラシ（裏）

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(1)

事業名	ふるさと寄附推進事業（実績報告P6 No.6）		
	（管理シート P3）		担当部署 定住企画課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用場を創出する
------	---------------------------

具体的な施策	(1)-①ものづくり産業の振興
--------	-----------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
67,491,496	219,554,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	ふるさと寄附を管理するシステムを導入するとともに、新たな特産品の取入れと寄附額別のコースの新設を行った。 ふるさと寄附制度の全国的な認知とふるさと寄附による控除額の上限額が引き上げられたことも手伝い、前年の約3倍の寄附額となった。	寄附額は増加傾向にあるが、全国の先進自治体の状況を見ると伸びしろがある。引き続き返礼品の追加やPRをする必要がある。	ふるさと寄附をされた方の反応は概ね良好。 次年度での対応 寄附申し込みのポータルサイトの追加(楽天市場)や情報高校生による返礼品のPRの推進を行う。	有
平成28年度	引き続き返礼品の開発、追加を行った。寄附申し込みポータルサイト「ふるさとチョイス」に「楽天市場」を追加し、幅広く寄附申し込みを可能とした。 楽天IT甲子園への参加を通じて情報高校生による返礼品PRを実施した。 以上の取り組みから、3億5千万円を超える寄附額となった。	寄附額の増加に伴い、問い合わせや寄附証明書の発送などの事務量が增大した。12月から1月までの繁忙期への対策の必要がある。 返礼品の増加に伴い、管理の事務量が増加している。	ふるさと寄附をされた方の反応は概ね良好。 次年度での対応 返礼品の充実のほか、専用の梱包材を作成し、PRに努める。	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

事業名： ふるさと寄附推進事業（実績報告P6 No.6）

担当部署：定住企画課

＜平成27年度＞

《寄附額と寄附件数の推移》

年度	金額(円)	件数
20年度	2,272,000	101
21年度	1,200,000	90
22年度	4,820,000	220
23年度	5,525,000	307
24年度	9,200,000	774
25年度	20,600,501	1,850
26年度	44,219,000	4,198
27年度	136,285,601	10,064

《寄附の使途》

寄付の項目	H27金額(円)	H27件数
ふるさとの自然環境及び景観の保全・活用に関すること	30,876,500	2,290
子どもの健全育成・ふるさと教育の推進に関すること	43,508,600	3,114
地域医療・福祉の充実に関すること	4,751,001	455
指定しない	57, 149, 500	4, 205
合計	136, 285, 601	10, 064

人気返礼品・新規追加返礼品



安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(1)

事業名	新農林水産振興がんばる地域応援総合事業（実績報告P6 No.7） （管理シートP4-1,P4-2,P4-3）		
	担当部署	農林振興課	

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
------	----------------------------

具体的な施策	(1)-②農林業の振興
--------	-------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
5,341,000	2,845,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	- 研修施設の充実 JA事業主体によりいちご用研修ハウスを整備（JA担い手支援センター:1棟） - 就農時支援 新規就農者の機械等の導入を支援（格納庫1棟、管理機1台、保冷库1台、コンバイン1台） - 繁忙期の労力確保対策 やすぎ農業サポートセンターを開設し、研修を重ね、農作業スキルを身につけたサポーターを育成 - 販売支援 直売店舗改善や特産品目の産地化を目指すし、研修会やイベントを開催	新規就農者の早期経営安定、認定農業者や集落営農組織などの中心的経営体の育成	将来の就農予定に応じた施設整備や機械の導入支援ができており、対象者の反応は良好。	有
			次年度での対応 就農研修生のスケジュールに対応した施設整備とスムーズな就農支援を目指し進捗管理の徹底と、早期経営安定を目指しサポーターの確保を進める。	
平成28年度	- 就農時支援 いちご新規就農者の機械等の導入を支援（格納庫1棟、畝立て機2台、トラクター1台） - 繁忙期の労力確保対策 やすぎ農業サポートセンターを開設し、研修を重ね、農作業スキルを身につけたサポーターを育成 - 販売支援 直売店舗改善や特産品目の産地化を目指すし、研修会やイベントを開催	新規就農者の早期経営安定、認定農業者や集落営農組織などの中心的経営体の育成	将来の就農予定に応じた施設整備や機械の導入支援ができており、対象者の反応は良好。	有
			次年度での対応 就農研修生のスケジュールに対応した施設整備とスムーズな就農支援を目指し進捗管理の徹底と、早期経営安定を目指しサポーターの確保を進める。	
平成29年度				
			次年度での対応	
平成30年度				
			次年度での対応	
平成31年度				
			次年度での対応	

【補足資料(1)】

平成27年度

事業名： 新農林水産振興がんばる地域応援総合事業（実績報告P6 No.7）

担当部署：農林振興課

※H28は見込み

○新規就農者の推移

(単位：人)

年度	H24	H25	H26	H27	H28
新規就農者	0	5	3	3	2
累計	0	5	8	11	13

○集落営農組織の推移

(単位：組織)

年度	H24	H25	H26	H27	H28
集落営農組織	44	45	46	53	57
対前年増減	—	1	1	7	4

○認定農業者の推移

(単位：経営体)

年度	H24	H25	H26	H27	H28
認定農業者	99	97	104	98	90
対前年増減	—	▲ 2	7	▲ 6	▲ 8

○サポーター登録者数の推移

(単位：人)

年度	H27開所時	H27	H28
サポーター	13	31	52
対前年増減	—	18	21

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(2)

事業名	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（実績報告P7 No.8） （管理シートP4-1,P4-2,P4-3）		
	担当部署	農林振興課	

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出の場を創出する
------	------------------------------

具体的な施策	(1)-②農林業の振興
--------	-------------

○事業費

単位：円

H27	H28	H29	H30	H31
21,856,000	13,380,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	JAが事業主体になり、国の交付金(補助率:1/2)を活用し、リース方式のパイプハウスを整備し、新規就農者の就農時の初期投資の軽減に繋がった。 ・いちご7棟、有機野菜16棟	事業計画では毎年度いちごで3名、有機野菜で2名の新規就農者の確保を目標としており、新たな研修生の確保が課題となっている。	新規就農者の就農時の初期投資の軽減に繋がり利用者の反応は良好。 次年度での対応 年次的にリースハウス利用希望者を把握し、スムーズな事業執行につなげる。	有
平成28年度	JAが事業主体になり、国の交付金(補助率:1/2)を活用し、リース方式のパイプハウスを整備し、新規就農者の就農時の初期投資の軽減に繋がった。 ・いちご3棟、有機野菜12棟	事業計画では毎年度いちごで3名、有機野菜で2名の新規就農者の確保を目標としており、新たな研修生の確保が課題となっている。	新規就農者の就農時の初期投資の軽減に繋がり利用者の反応は良好。 次年度での対応 年次的にリースハウス利用希望者を把握し、スムーズな事業執行につなげる。	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

○リースハウス制度の仕組み

- 1 JALまねやすぎ地区本部が国の補助事業(補助率:1/2)を利用してハウスを建設する。
 - 2 JAから新規就農者に対して、ハウスをリースする。
 - 3 新規就農者は、ハウスの耐用年数(10年)の間、リース料を支払う。
- ※なお、新規就農者が負担するリース料に対して、県、JAのリース料補助がある。

○リースハウス整備の状況

(単位:棟数)

年度	H27	H28
イチゴ	7	3
有機野菜	16	12
単年度計	23	15
累計	23	38



リースハウス（イチゴ本圃）



リースハウス（有機葉物野菜）

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(3)

事業名	新規就農研修事業（実績報告P7 No.9） （管理シートP4-1,P4-2,P4-3）		
	担当部署	農林振興課	

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出する
------	-------------------------

具体的な施策	(1)-②農林業の振興
--------	-------------

○事業費

単位：円

H27	H28	H29	H30	H31
4,896,183	11,045,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	Uターン就農や後継就農を目指す研修生を対象として、主に指導農業士のほ場において農業の実地研修を行い、農業技術及び農業経営力の習得を目指した。(H27研修受入 5名) また、国、県の給付金制度を活用し、新規就農者の早期経営安定を図った。 ・給付金対象者 5名	いちご、有機野菜での新規就農者の確保、育成	指導農業士のもとでのマンツーマンの指導により技術、知識が学べ研修生の反応は良好。 次年度での対応 関係機関一体となり就農相談から研修受入、その後のフォローをさらに充実する。	有
平成28年度	Uターン就農を目指す研修生を対象として、主に指導農業士のほ場において農業の実地研修を行い、農業技術及び農業経営力の習得を目指した。(H28研修受入 7名) また、国、県の給付金制度を活用し、新規就農者の早期経営安定を図った。 ・給付金対象者 7名	有機野菜での新規就農者の確保、育成	指導農業士のもとでのマンツーマンの指導により技術、知識が学べ研修生の反応は良好。 次年度での対応 関係機関一体となり就農相談から研修受入、その後のフォローをさらに充実する。	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

事業名： 新規就農研修事業（実績報告P7 No.9）

担当部署：農林振興課

○新規就農研修生の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28
研修生(数)	8	4	3	5	7

※研修期間は2年間を目安としているため、年度別の人数は新規で受け入れた人数としている。

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(4)

事業名	就農・定住パッケージ事業 ※H28年度～ (管理シートP4-1,P4-2,P4-3)		
	担当部署	農林振興課	

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出する
------	-------------------------

具体的な施策	(1)-②農林業の振興
--------	-------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
	45,770,400			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度			次年度での対応	
平成28年度	UIターンによる新規就農及び地域定住の促進を図るため、就農研修生及び認定新規就農者を対象に定住促進賃貸住宅を整備する。H28年度では、2棟を新築。	農地を確保でき、新規就農者を積極的に受け入れる集落体制づくり	住宅の設計に希望が反映できる仕組みとなっており、対象者からの反応は良好。 次年度での対応 新規就農者を積極的に受け入れる集落の確保を進める。	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

【事業のポイント】

将来の集落の担い手として
期待される人材の確保

園芸産地の活性化

集落機能の維持・
課題解決に寄与する効果



【事業概要】

市がUIターンで新規就農する世帯を対象とし、定住住宅を建設する。

【事業要件】

次の要件を満たした地域で事業可能

(1) 集落ビジョン策定集落

集落ビジョンにおいて、UIターン者の受け入れによる集落の担い手確保や農地、住環境など受け入れ環境の整備などの取り組みを掲げている集落であること

(2) 営農条件(師匠、営農活動)

農業者(師匠)がおり、研修の受け入れや就農時の農地が確保されている集落であること

(3) 居住条件

空き家等で農地に近接する住宅確保が難しい集落

(4) 土地の確保

地主、集落、市の3者による協議に基づき、提供用地を市が賃借する

【事業費】

○事業費上限 22,000千円

○住宅は、受け入れ集落及び入居者の将来ビジョン実現のため、就農研修期間から建設可能とし、入居者と市の協議により基本設計から詳細な仕様などを決定するオーダー方式とし、事業費上限内で入居者の希望に対応する。

【財源スキーム】

事業費の上限を設定し、過疎対策事業債(ハード、充当率75%、交付税算入率70%)を活用する。後年度交付税措置のない純粋な市負担分については、入居者からの家賃収入で回収する

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(1)

事業名	林業活性化事業（実績報告P7 No.10）		
	（管理シート P5）		担当部署 農林振興課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出する
------	-------------------------

具体的な施策	(1)-②農林業の振興
--------	-------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
12,000,000	8,000,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成 27 年度	市産材の生産量を増やすとともに、木質燃料の生産を推進し、林業の活性化を図るため、高性能林業機械の導入及び木材の搬出経費について補助金を交付した。 ・高性能林業機械等導入事業(9,000千円) プロセッサ 1台、スイングヤーダ 1台 ・市産材増産事業(3,000千円) 1,000円×3000㎡	循環型林業の推進のため、新植部分への支援を検討する必要がある。	森林所有者の反応は概ね良好	有
			次年度での対応	
			新植部分に対して新たな支援を検討する。	
平成 28 年度	市産木材の生産量を増やすとともに、木質燃料の生産を推進し、林業の活性化を図るため、木材の搬出経費についての補助金を交付する。 ・施業集約化促進事業(1,500千円) ・新植支援事業(2,000千円) ・市産材増産事業(4,000千円) 1,000円×4000㎡	循環型林業を推進し、結果を確実なものとしていくためには、支援を継続しなければならない。単年度では結果がでないものではない。	森林所有者の反応は概ね良好	有
			次年度での対応	
			支援の継続	
平成 29 年度				
			次年度での対応	
平成 30 年度				
			次年度での対応	
平成 31 年度				
			次年度での対応	

＜平成27年度＞

高性能林業機械等導入事業



（プロセッサ）



（スイングヤーダ）

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(2)

事業名	中間土場整備事業 ※H28年度～		
	(管理シート P5)	担当部署	農林振興課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出する
------	-------------------------

具体的な施策	(1)-②農林業の振興
--------	-------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
	7,996,320			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度			次年度での対応	
平成28年度	山から切り出した原木の適切な仕分・積み替えにより、効率的な出荷体制構築とCD材のバイオマス利用の促進を図る為、中間土場を整備した。 造成・舗装工事 舗装面積 1,300㎡	整備し後、しまね東部森林組合に行政財産使用料として貸与しており、森林組合が土場を有効利用してもらうことが大切。	しまね東部森林組合の反応は良好 次年度での対応 有効利用の働きかけ。	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

＜平成28年度＞



舗装面積 1,300m²

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(3)

事業名	特用林産物振興事業 ※H28年度～		
	(管理シート P5)	担当部署	農林振興課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出する
------	-------------------------

具体的な施策	(1)-②農林業の振興
--------	-------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
	900,000			

○事業内容・課題等

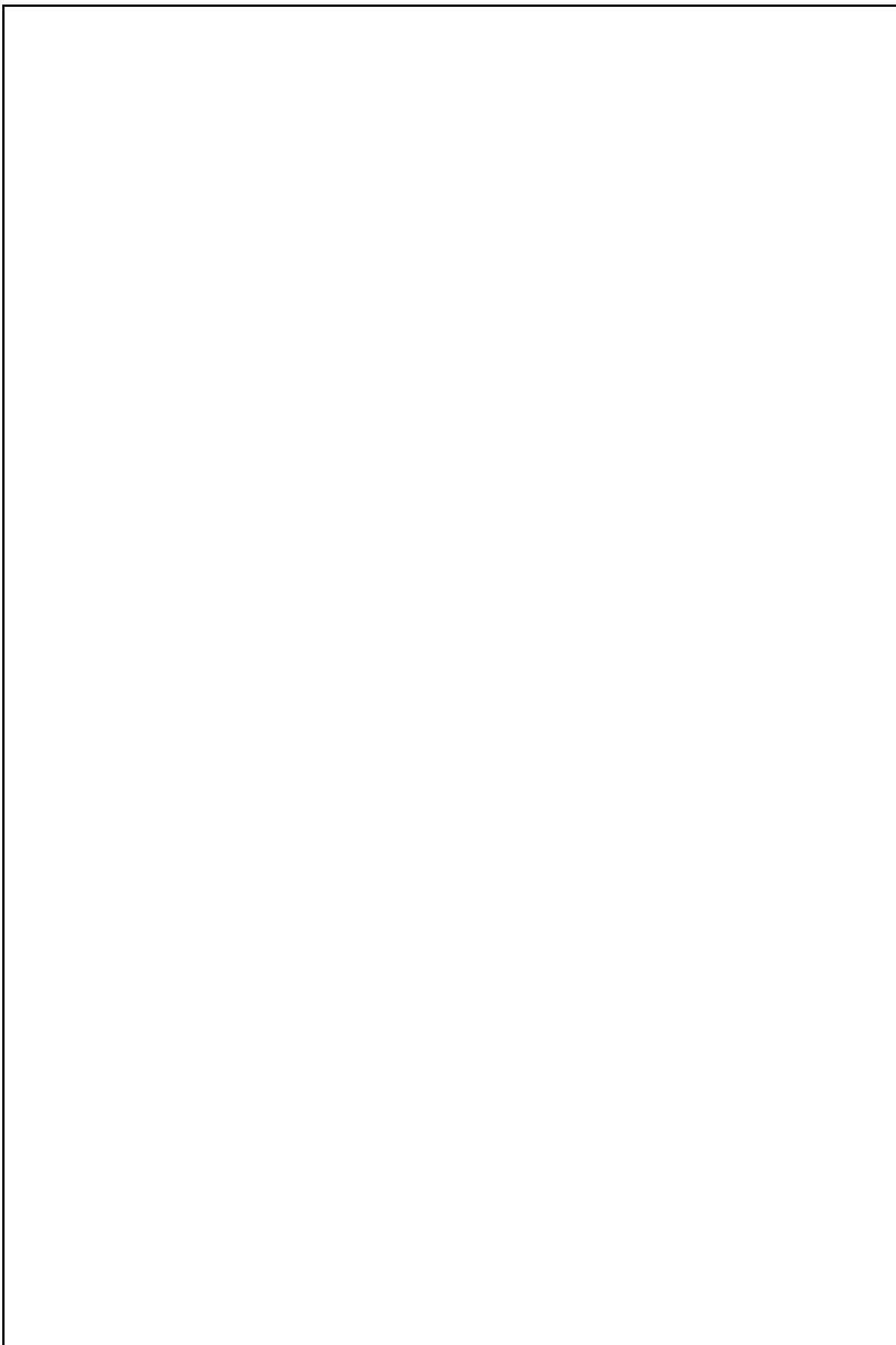
	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度			次年度での対応	
平成28年度	県の「しいたけ生産向上プロジェクト」に参画し、県・松江市・安来市・JAしまね及び生産者団体が連携して生産者確保対策や生産条件の改善を図り、生産量拡大と品質向上を目指す。これに伴いしいたけ原木・種駒購入に対し支援を行う。 支援内容:しいたけ原木・種駒購入に係る経費の1/3以内(100円未満切り捨て)	生産者の高齢化と後継者不足	しいたけ生産者の反応は概ね良好 次年度での対応 県プロジェクトと連携した支援の継続が必要。	無
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

【補足資料(3)】

平成27年度

事業名： 特用林産物振興事業 ※H28年度～

担当部署：農林振興課



安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(4)

事業名	みどりの担い手確保緊急対策事業（実績報告P7 No.11）		
	（管理シート P5）	担当部署	農林振興課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
------	----------------------------

具体的な施策	(1)-②農林業の振興
--------	-------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
3,000,000	3,000,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成 27 年度	高齢化、減少化が進む林業労働者の確保のため、作業員就労条件整備事業、新規参入促進対策事業等 メニューにあわせて補助金を交付した。	ハローワーク等で募集をしているが、応募が少なく、新規林業従事者をいかに確保していくかが課題。	しまね東部森林組合の反応は良好	有
			次年度での対応	
			新規林業従事者へのサポート体制の強化	
平成 28 年度	高齢化、減少化が進む林業労働者の確保のため、作業員就労条件整備事業、新規参入促進対策事業等 メニューにあわせて補助金を交付した。	ハローワーク等で募集をしているが、応募が少なく、新規林業従事者をいかに確保していくかが課題。	しまね東部森林組合の反応は良好	有
			次年度での対応	
			新規林業従事者へのサポート体制の強化	
平成 29 年度				
			次年度での対応	
平成 30 年度				
			次年度での対応	
平成 31 年度				
			次年度での対応	

事業名： みどりの担い手確保緊急対策事業（実績報告P7 No.11）

担当部署：農林振興課

＜平成27年度＞

みどりの担い手確保緊急対策事業メニュー 事業主負担の1/4補助

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| ・作業員就労条件整備事業 | 健康保険・農林年金・中小企業退職共済等の事業主負担に対し支援 |
| ・有給休暇促進事業 | 有給休暇取得に係る事業主負担に対し支援 |
| ・健康診断事業 | 健康診断に係る事業主負担に対し支援 |
| ・新規就労設備事業 | 新規就労に必要な設備の整備に対し支援 |

＜平成28年度＞

みどりの担い手確保緊急対策事業メニュー 事業主負担の1/4補助

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| ・作業員就労条件整備事業 | 健康保険・農林年金・中小企業退職共済等の事業主負担に対し支援 |
| ・有給休暇促進事業 | 有給休暇取得に係る事業主負担に対し支援 |
| ・健康診断事業 | 健康診断に係る事業主負担に対し支援 |
| ・新規就労設備事業 | 新規就労に必要な設備の整備に対し支援 |

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(1)

事業名	創業支援事業（実績報告P8 No.12）		
	（管理シート P6）		担当部署 商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
------	----------------------------

具体的な施策	(1)-③創業支援
--------	-----------

○事業費

単位：円

H27	H28	H29	H30	H31
9,288,000	6,600,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	専門アドバイザーを雇用し、創業を考えている方を後押しするため、セミナー、ビジネスプランコンテスト、チャレンジスペースの貸し出しを実施。セミナーは3回実施し、計63名の方が参加。ビジネスプランコンテストでは51点の応募。チャレンジスペースでは9名の方に利用いただいた。	創業希望者の状況が把握できたため、今後事業に参加した方々が実際に創業して頂けるよう支援していく必要がある。	参加者、利用者の反応は良好。	有
			次年度での対応 セミナーを意識啓発主体から実務的な知識習得につながるものとする。またビジネスプランコンテストの応募者フォローアップを行う。	
平成28年度	専門アドバイザーを雇用し、創業を考えている方を後押しするため、セミナー、ビジネスプランコンテストフォローアップ、チャレンジスペースの貸し出しを実施。セミナーは5回実施し、述べ68名の参加申込。ビジネスプランコンテストフォローアップでは平成27年度受賞者の2名をフォロー。チャレンジスペースでは2名の方に利用頂いた。	セミナーは意識啓発主体から必須基礎知識の習得や、他機関が実施する創業スクールへつなげる内容としたことでより創業へ前進するものとしたが、今後どのようにして創業までつなげるかが課題。 チャレンジスペースは場所の都合上2名しか利用できない状況となっている。今後より多くの創業希望者が利用できる体制とする必要がある。	参加者、利用者の反応は良好。	有
			次年度での対応 チャレンジスペースを創業希望者が集えるコワーキングスペースとすることができないか模索。また、セミナーへ参加した創業希望者へそうしたスペースの斡旋。	
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

【補足資料(1)】

平成27年度

事業名： 創業支援事業（実績報告P8 No.12）

担当部署:商工観光課

＜平成27年度＞

[illegible]

＜平成28年度＞

参加者
受付中!

安来起業塾

(入門編)

※このイベントは、
「安来市起業塾」の
「入門編」です。

これから起業を考えている方、やる気がある方、いっしょにがんばる方をお待ちしています。

高卒からスタートも既卒の方も大歓迎です。専らの方でも、専らの方でも一緒に勉強しましょう!

安来市があなたを応援します。まずは参加を!

開催日

※1回1時間30分、全3回開催

第1回	7月27日(水)	PM7:00~9:00
第2回	7月31日(日)	AM10:00~12:00
第3回	7月31日(日)	PM2:00~4:00

開催内容

①安来市・安来商工会について
②創業の心構え
③創業準備金保証協会の活用
④各種申請・信用保証協会の活用
⑤創業準備金保証協会の活用
⑥創業準備金保証協会の活用
⑦創業準備金保証協会の活用
⑧創業準備金保証協会の活用

開催場所

安来市学習訓練センター
〒859-0201 安来市大森町1-18, 0846 02 1230

定 員 20名(参加無料)

申込・申込

下列の申込書に「FAXで7月25日(金)までに
安来市起業塾事務局まで送付してください」

※本会場は、安来市大森町1-18、0846 02 1230です。

安来起業塾(入門編) 参加申込書

安来市大森町1-18 0846 02 1230 FAX:0846-22-2314

申込 7/25(金)

氏名

性別

学年

職

住所

TEL

FAX

安来市大森町1-18 0846 02 1230 FAX:0846-22-2314 E-mail:yu@aicw.ac.jp

[illegible]

<創業実績>

	平成27年度	平成28年度
飲食業	2	3
理・美容業	1	1
小売業	1	2
木工業	0	1
製造業	0	1
建設業	1	1
合計	5	9

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(1)

事業名	誘客推進事業（実績報告P8 No.13）		
	（管理シート P7）		担当部署 商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
------	----------------------------

具体的な施策	(2)地域資源を活かした観光振興
--------	------------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
3,221,040	1,613,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成 27 年度	月山富田城誘客推進事業として、市外の戦国イベントへの出展等戦国歴史プロモーションや観光PR画像用の空撮、ボランティアガイド養成講座を実施し、情報発信及び受け地対応を行った。 また、観光客への対応として広瀬耕センター内に土日(1月～2月は除く)観光案内所を設け案内業務を実施。案内総数 1,107件。	受け地対応として、ボランティアガイドの養成と地域おこし協力隊の活用。	観光案内所の利用者は概ね好評である。	有
			次年度での対応 戦国プロモーションと観光案内業務の継続実施と、地域おこし協力隊として観光コーディネーターの募集。	
平成 28 年度	月山富田城誘客推進事業として、月山山頂部オープニングイベントやボランティアガイド養成講座を実施し、情報発信及び受け地対応を行った。 また、観光客への対応として広瀬耕センター内に土日祝日(1月～2月は除く)観光案内所を設け案内業務を実施。案内総数 2,203件。	受け地対応として、ボランティアガイドの養成と地域おこし協力隊の活用。	観光案内所の利用者は概ね好評である。	有
			次年度での対応 戦国プロモーションと観光案内業務の継続実施と、地域おこし協力隊として観光コーディネーターの募集。	
平成 29 年度				
			次年度での対応	
平成 30 年度				
			次年度での対応	
平成 31 年度				
			次年度での対応	



大坂ノ陣合戦祭り出展



観光ボランティアガイド養成講座

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(2)

事業名	新・ご当地グルメ開発事業（実績報告P8 No.14）		
	（管理シート P7）		担当部署 商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出の場を創出する
------	------------------------------

具体的な施策	(2)地域資源を活かした観光振興
--------	------------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
3,240,000	1,620,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	どじょう並びに地場農産物を活用した新たなご当地グルメを開発するため、開発に係るプロデュース等の業務をリクルートじやらんリサーチセンターに委託し、開発に向けた試作会議等を実施した。	次年度内での完成。	参加事業者及び関係者の方々は意欲的に取り組まれている。 次年度での対応 地元会議と開発会議を継続的に開催し完成を目指す。	有
平成28年度	継続的に新・ご当地グルメの開発に向け、地元会議と開発会議を毎月3回計50回以上開催。 名称は「安来ドジョウ寿司」に決定。3月末のデビューに向け取り組んでいる。	行政・観光協会・事業者で組織する「安来ドジョウ寿司推進協議会」の発足及び運営体制。	参加事業者及び関係者の方々は意欲的に取り組まれている。 次年度での対応 安来ドジョウ寿司のプロモーション等の運営を推進協議会へ委託。	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

事業名： 新・ご当地グルメ開発事業（実績報告P8 No.14）

担当部署：商工観光課

○新・ご当地グルメ開発事業

【概 要】

地場産食材である「やすぎどじょう」を活用して、地域に人を呼び込むキッカケと滞在時間の延長を目的に、
新・ご当地グルメを開発・販売する。「食」は旅行の必要な要素であり、10年間の継続を目標に事業展開していく。

5店舗以上で統一メニューを提供し、10,000食/年を目標とする。

【効 果】

- ・昼食の提供による市内での滞在時間の増加 ⇒ 観光客の消費額UP
- ・地域外市場産業の形成(精算＝加工＝販売)6次産業
- ・伝統文化(＝安来節)との相乗効果

【名 称】 安来ドジョウ寿司

【内 容】 安来節「どじょうすくい踊り」をモチーフにした御膳
創作ドジョウ寿司(9種)、新・柳川鍋、どじょう掬いまんじゅう&伯太番茶

【提供店舗】 5店舗

- ・どじょう亭(安来節演芸館)
- ・ゆう心(清水)
- ・定九郎(南十神)
- ・安来苑(さぎの湯温泉)
- ・中海の郷(道の駅あらエッサ)



安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(3)

事業名	安来節振興事業（実績報告P8 No.15）		
	（管理シート P7）	担当部署	商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
------	----------------------------

具体的な施策	(2)地域資源を活かした観光振興
--------	------------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
34,285,130	34,411,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成 27 年度	安来節普及宣伝事業、安来節教室開催事業、安来節演芸館指定管理、安来節保存会補助事業を実施し、安来節の普及宣伝と誘客を図った。 【安来節講師派遣実績】 11校 【安来節演芸館入館者数】 83,072人 【安来節保存会会員数】 3,600人	安来節保存会会員数の減少。	学校等への安来節講師派遣は好評。	有
			次年度での対応	
			安来節普及宣伝事業の継続。	
平成 28 年度	安来節普及宣伝事業、安来節教室開催事業、安来節演芸館指定管理、安来節保存会補助事業を実施し、安来節の普及宣伝と誘客を図った。 【安来節講師派遣実績】 11校 【安来節演芸館入館者数】 90,666人 【安来節保存会会員数】 3,500人	安来節保存会会員数の減少。	学校等への安来節講師派遣は好評。	有
			次年度での対応	
			安来節普及宣伝事業の継続。	
平成 29 年度				
			次年度での対応	
平成 30 年度				
			次年度での対応	
平成 31 年度				
			次年度での対応	



安来節全国優勝大会



唄い初め会

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(4)

事業名	インバウンド推進事業 (実績報告P9 No.16)		
	(管理シート P7)	担当部署	商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出を創出する
------	----------------------------

具体的な施策	(2)地域資源を活かした観光振興
--------	------------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
1,171,280	565,404			

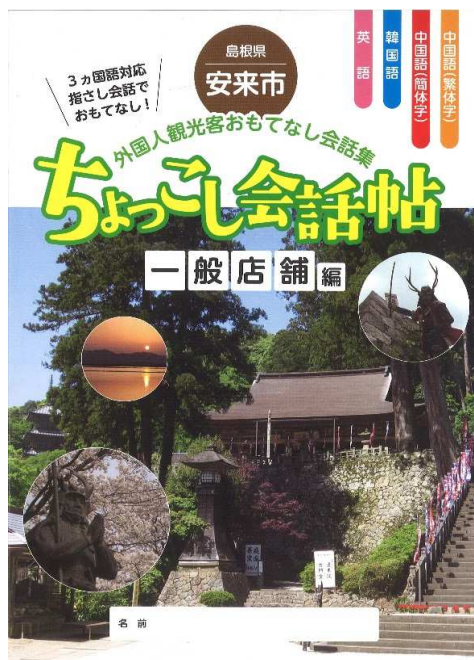
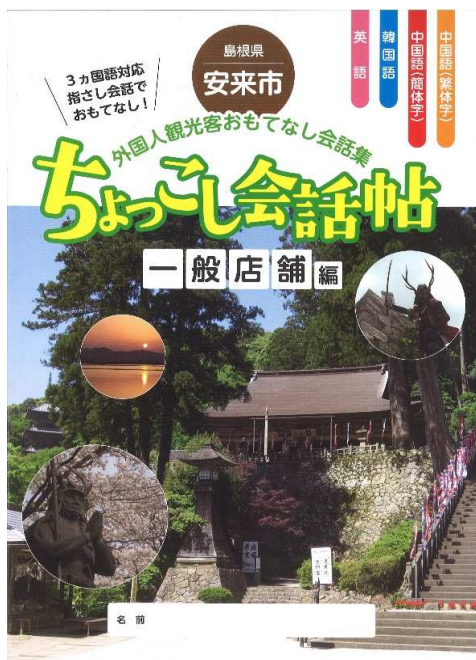
○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成 27 年度	受入体制を充実させるために、観光アプリ「どげなび」の運用と、市内事業者向けに多言語化の対応した会話集(一般店舗編・フロント編)を作成し配布した。 また、境港のクルーズ船での観光案内等のおもてなし対応を実施した。	案内板等含め多言語化が不十分。	多言語化の会話集は好評であった。	有
			次年度での対応 観光案内サイン等含め多言語表記化での受入体制の充実と観光プロモーション。	
平成 28 年度	受入体制を充実させるため、観光アプリ「どげなび」の運用と、県とタイアップし欧米の英文ビジネス誌(月刊購読数11万人)への記事掲載(web版含む)でのプロモーションを行った。 また、境港のクルーズ船での観光案内等のおもてなし対応を実施した。	案内板等含め多言語化が不十分。	事業者さんの多言語化対応への意識が高まっている。	有
			次年度での対応 多言語化表記化の受入体制の充実と観光プロモーションと、観光アプリの中海・宍道湖・大山圏域版への移行。	
平成 29 年度				
			次年度での対応	
平成 30 年度				
			次年度での対応	
平成 31 年度				
			次年度での対応	

事業名: インバウンド推進事業 (実績報告P9 No.16)

担当部署: 商工観光課

H27年度



おもてなし会話集 (店舗編・フロント編)

H28年度



月刊英文ビジネス誌 (ACUMEN) への記事掲載 (Web版もあり)

安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(5)

事業名	やすぎ刃物まつり事業（実績報告P9 No.17）		
	（管理シート P7）		担当部署 商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用場を創出する
------	---------------------------

具体的な施策	(2)地域資源を活かした観光振興
--------	------------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
8,733,498	5,300,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	安来市は、江戸時代より鋼と鉄の積出港として栄えた歴史があり、現代でも大手鉄鋼メーカーにより高級特殊鋼の生産地として知られるなど、鋼（ハガネ）と刃物に深い関わりがある。そうした背景から鋼の里帰りと称して全国の刃物を一同に集め「やすぎ刃物まつり」を開催している。20回開催記念ということもあり、特別イベントとして錦織監督のトークショーも開催、5月3日、4日の2日間で計20,400人の方に足を運んで頂いた。	来場者数の目標を3万人としていたが、雨天のため予定よりも客足が伸びなかった。	来場者の反応は良好。	有
			次年度での対応 悪天候でも足を運んでいただけるような魅力的なイベントを企画したい。	
平成28年度	平成28年度はこれまで開催していた全国の刃物の展示即売などはそのままに、子供にも楽しんで頂けるイベントとして刃物を使ったものづくり体験であったり自動車整備体験などのイベントを実施。こどもお遊び広場のコーナーも作るなど子供にも楽しんで頂ける内容とした。 5月4日、5日の2日間で計30,400人の方に足を運んで頂いた。	天気が晴れていたこともあり、来場者数の目標3万人を上回る盛況となった。ただ、1日目は風が非常に強く、途中、暴風警報が出る時間もあった。来場者の方が協力して飛びそうになるテントを抑えている場面もあったため、来場者の方に安心して楽しんで頂けるイベント運営という点で課題が残った。	来場者の反応は良好。	有
			次年度での対応 出店者が自分で準備するテントに対して、重り（ウエイト）を必ず付けることを出店募集要項に追記する。	
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

事業名: やすぎ刃物まつり事業 (実績報告P9 No.17)

担当部署: 商工観光課

＜27年度＞



＜28年度＞



安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(6)

事業名	月の輪まつり振興会補助事業 (実績報告P9 No.18)		
	(管理シート P7)	担当部署	商工観光課

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用場を創出する
------	---------------------------

具体的な施策	(2)地域資源を活かした観光振興
--------	------------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
6,000,000	7,000,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	月の輪まつり振興会の行う花火大会、安来節踊りなどの各種行事に対し補助金を交付し、地域の活性化と安来節の普及を図った。 期間中(8/14~17)の来場者数は60,000人。	まつり協賛金及び花火募金減少への対応。 踊りの参加チーム数増対策とイベントのマンネリ化。 また、交通規制の変更等により警備員の配置が必要となり、ボランティア警備の配置見直し。	来場者の反応は良好。 次年度での対応 協賛金及び募金の対応。各部会での企画。花火の充実と警備員の増員。	有
平成28年度	月の輪まつり振興会の行う花火大会、安来節踊りなどの各種行事に対し補助金を交付し、地域の活性化と安来節の普及を図った。 また、安来節踊り・仁輪加パレードの参加者は538名となり、昨年と比べ、大幅に増加した。 期間中(8/14~17)の来場者数は62,000人。	まつり協賛金及び花火募金減少への対応。 踊りの参加チーム数増対策とイベントのマンネリ化。 また、花火打ち上げ中に一時中止となるトラブルがあり、実行委員会の緊急時の対策。 そして、警備会社の警備員を増員し、交通に関する安全・混雑の緩和に併せ、花火大会時の警備強化と再配置を検討。	来場者の反応はおおむね良好。 花火を最後まで観覧できなかったところはない。 次年度での対応 花火の充実と安全対策。協賛金及び募金の対応。	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

ポスター



チラシ



安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)事業別シート(1)

事業名	就労支援事業（実績報告P8 No.19）		
	担当部署	定住企画課	

基本目標	2.産業振興により、若者に魅力ある雇用創出する
------	-------------------------

具体的な施策	(3)若者・女性等の就職支援の充実
--------	-------------------

○事業費

単位:円

H27	H28	H29	H30	H31
1,394,183	1,405,000			

○事業内容・課題等

	取り組み内容・成果	課題等	市民・利用者・関係者等の反応	資料
平成27年度	中海圏域4市(松江、米子、安来、境港)が共同して就職に関するポータルサイトを運営するほか、3月に登録企業と卒業予定の学生による合同就職ガイダンスを実施した。 参加企業137社(うち安来市3社) 参加学生262人(うち安来出身19名)	島根県、鳥取県の同種イベントなどが同時期にあり、差別化必要と考える	合同就職ガイダンスにおいて企業からは学生の参加が少ないとの指摘あり 次年度での対応 新卒者向け、中途採用者向けの個別サイトを統合する。	有
平成28年度	これまで個別にあった新卒者向けサイトと中途採用者向けサイトを1つに統合した。中海圏域4市(松江、米子、安来、境港)が共同して就職に関するポータルサイトを運営するほか、毎年3月に登録企業と卒業予定の学生による合同就職ガイダンスを実施する。	島根県、鳥取県の同種イベントなどが同時期にあり、差別化必要と考える	合同就職ガイダンスにおいて企業からは学生の参加が少ないとの指摘あり 次年度での対応 島根県、鳥取県が運用する同種サイトやイベントとの棲み分けを検討する予定	有
平成29年度			次年度での対応	
平成30年度			次年度での対応	
平成31年度			次年度での対応	

事業名： 就労支援事業（実績報告P8 No.19）

担当部署:定住企画課

○求人開拓のための企業訪問実績

	件数
H26	10
H27	10
H28	

←実績報告まち

○求人掲載企業実績

	件数
H26	5
H27	6
H28	

←実績報告まち

○ガイダンスの実績

	安来市		全体	
	企業数	学生数	企業数	学生数
H26	2	8	120	298
H27	3	19	137	262
H28				

←実績報告まち

ホンネが聞けると、
ホンネになれる！

ホンネ フェス

HONNE FES

マスクを付けた
若手社員さんから
企業のホンネが聞ける
就活イベント!!

2017
3.11 SAT

入場無料・事前申込不要

新卒者
向け 松江市・東浜市・浜田市・瀬戸市
新元浜港青森サイト 中浜岡崎駅南口創造広場

島根県東部・鳥取県西部エリア内企業 合同就職ガイダンス

会場／くにびきメッセ 大展示場（島根県立産業交流館内）

受付開始／9:30 ガイダンス／10:30～12:30・13:30～16:00

参加対象者／2018年3月大学・短大入学・高等専門学校卒業予定者

※申し込みは、イベント登録のみの申し込みです。

※参加費無料です。

※本イベントは、島根県東部・鳥取県西部エリア内企業と参加希望者のみを対象としたイベントです。詳しくは、島根県立産業交流館内（島根県立産業交流館）の案内板をご覧ください。また、島根県立産業交流館内（島根県立産業交流館）の案内板をご覧ください。また、島根県立産業交流館内（島根県立産業交流館）の案内板をご覧ください。

島根県東部
島根企業
ガイダンス

島根県立産業交流館内（島根県立産業交流館）
島根県立産業交流館内（島根県立産業交流館）
島根県立産業交流館内（島根県立産業交流館）

島根県立産業交流館内（島根県立産業交流館）
島根県立産業交流館内（島根県立産業交流館）
島根県立産業交流館内（島根県立産業交流館）

ガイダンス・チラシ